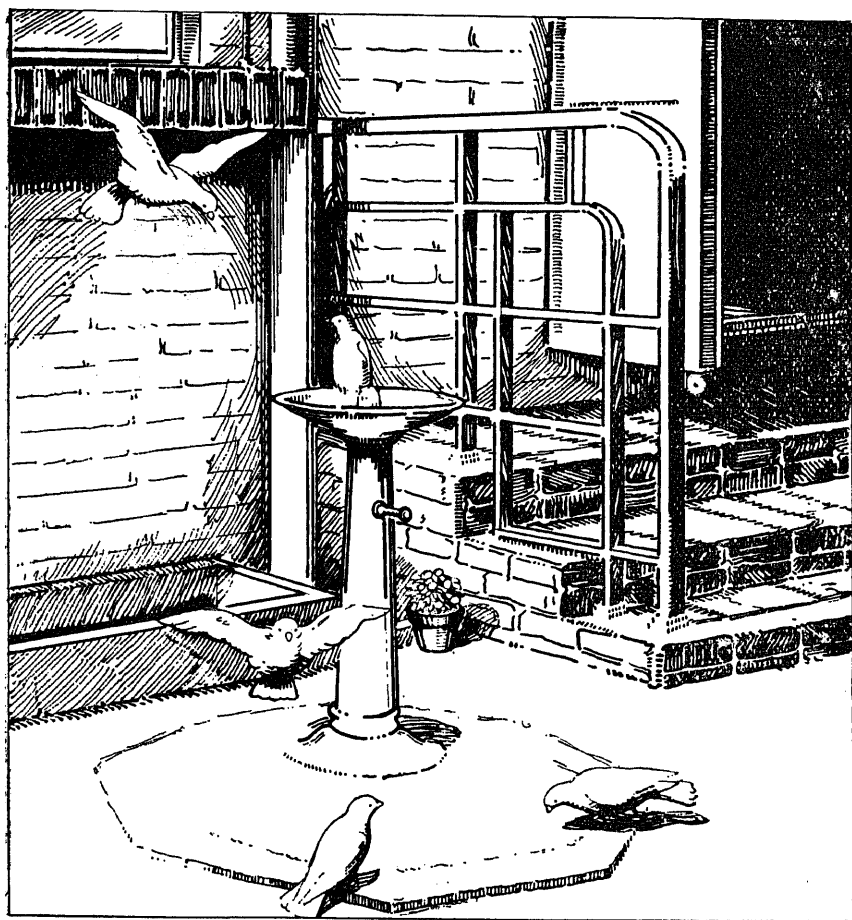


育教の兒幼

號 七 第 號 月 七 卷五十三第



內校學範師等高子女京東
會協園稚幼本日

菊判洋裝全一冊
定價壹圓貳拾錢
送料十四錢

心理學が文學、思想、教育、社會問題等、各方面に有する關聯の深さは驚くべきもので、最近のそれは實際的の問題となつて來た。雜誌「應用心理研究」は之等の必要に基き、一は諸大家の心血を注がれたる研究の發表機關とし、他は一般社會の心理學應用の理來を深からしめんが爲に、創刊以來、既に三卷を重ねて來た。今現代斯界の十二大家に乞ひ、その大研究を特増大號として公にする事の出來たのは、小館の最も誇とする所である。

[illegible]

形態心理學の出現と共に心理學界は一大センセーションを捲き起して居る。彼等はヴァン・ゼームスの如き巨匠に依りて建設された心理學の大殿堂を根柢から覆さんと試み、在來の心理學とは全く異つた見地から精神現象を見直さんと企てゝ居る。

七番 四二五 八二三 京東替振 店書館文中 區込牛市京東 四七一町天辨 所行發

本年は幼稚園令公布十周年に當りますので左記の通り記念講演會を開催いたします。御來會を得ば幸甚の至りです。御案内申し上げます。

時 七月二十一日午前八時半より正午まで

東京女子高等師範學校大講堂

講演

挨 拶

東京女子高等師範學校長
本會 方 長

下

村

壽

一君

講演

東京文理科大學長

森

岡

常

藏君

講演

國民精神文化研究所長

關

屋

龍

吉君

講演

文
部
省
參
與
官

山

枰

儀

重君

來會申込

七月十五日までに本會

東京市小石川區大塚町三十五
東京女子高等師範學校附屬幼稚園內

御住所、御職名御明記御申

込み下さい。

昭和十年七月

日本幼稚園協會

注意

一、右二十一日は本會主催夏季講習會第一日であります。講習會とは別に、その日だけの御案内を申し上げます。(會費不要)

二、御來會者中、現在教育事業に御關係の方に限り、汽車賃割引券（五割引）を御送り申上げますから、御職名とその送りの先きを御明記の上、特に七月十五日までに本會に着致す様御申越し下さい。（その後は御送りの出來ません）

保育夏期講習會（第七回）

この夏も左記の通り第七回の保育夏期講習會を開催いたしたいと存じます
本年も亦昨年の講習會に於ける皆様の御希望を参考と致しまして理論よりも實際に重きを置いて講師及科目を選んでおります
幼児教育に直接携はれる先生方は勿論其經營者及將來この方面に進出せんとせらるゝ方に御入會を切にお勧め致します

昭和十年六月

主催 佛教保育協會
後援 佛教各宗々務所

要 綱

- 一、期 間 昭和十年七月二十七日より三十一日まで五日間（毎日午前八時より午後三時まで）
二、會 場 東京市芝區愛宕町一丁目八番地 智山派宗務所講堂

（△市電 田村町四丁目下車 約二丁
△市バス 放送局下車 スグ前）

一、講師及科目

一、保育の本義（四時間）

本會の第一回講習より御出講せられて幼児保育の理論に實際に御指導を頂いております本會は特に保育の本義と題されて從來動もすれば閑却され勝な保育の實際精神に就て御説示されます

東京女子高等師範學校教授

倉 橋 惣 三氏

二、幼児に接する保姆の心境（二時間）

ラヂオの修養講座で全國にその名を知られられます高神先生が今同特に出講せられて平素幼児を取扱つておらるゝ保姆さん方に「清涼の世界」と題されて精神修養のお話をして頂きます

智山専門學校教授

高 神 覺 昇氏

三、幼児の唱歌發聲法（八時間）

毎年の講習會に於て皆さんから非常な期待と敬慕を以て迎へられておらるゝ先生が本年も亦出講せられて幼児に對する唱歌の發聲指導に就て懇切に御指導されます

東京音樂學校講師

梁 田 貞氏

四、幼児の遊戲指導（十時間）

東京女子高等師範學校助教授

戸 倉 ハ ル氏

昨年第六回の講習に於て始めて御出講せられてその御熱心なる御指導に對して皆さんから非常な感謝を以て迎へられましたので本年も亦特に御出講を請ひ幼児の遊戲の實際指導をして頂くことになつてゐます尙時間數も昨年より二時間増加して皆さんの御期待に沿ひたいと考へてゐます

佛教保育協會保姆養成所講師

一、手技製作の新教材(五時間)

ト部 たみ氏

幼児の手技製作に就ては不斷の御研究と努力を拂つておらるゝ先生が最近一ヶ年に御考案されました新しい教材に就て發表並に指導をされることになつております

一、科外講話 講師、

本會會長前文部政務次官 安藤正純氏
同副會長中野高等女學校長 富田數純氏
同副會長東洋大學教授 關寬之氏

一、講習科 會費 金貳圓五拾錢也

一、定員 貳百名

一、申込書 東京市芝區愛宕町一丁目八番地 智山派宗務所内

一、申込期日 七月二十日迄(但し會場の都合により定員超過の場合は期)

一、宿泊 一泊二食付金壹圓參拾錢にて會場より半丁左記高級旅館を御世話いたします

一、鐵道割引 東京市芝區田村町四丁目二番地 千歲館(市電田村町四丁目下車)

一、見學 本講習に参加せらるゝ方に限り全國各地より鐵道旅客運賃往復三割引の特典が與へられます

御注意

申込書入用の方又は講習に就ての御問合は左記へ願ひます

東京市芝區愛宕町一丁目八番地智山派宗務所内

佛教保育協會夏期講習會事務所

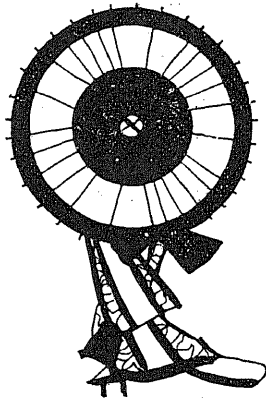
振替口座東京七八六六七番
電話 芝九八九番

兒童舞踊界の第一人者 島田 豊先生著 (いよく製本出來)

兒童舞踊傑作集

斯界一流權威の總動員

童謡集、曲譜集、舞踊集の一大集成



作曲
童謡

振付

島水葛佐與横若野西中
谷原藤田山杉口條山
田まし義準青三雨八晋
豐るる美一娥郎情十平

島田先生は當代兒童舞踊界の權威である。深く童心を理解したその流麗な舞踊振は、見るものをしつて恍惚として魅了せずには置かない。即ち最も現代的であり、かつ教育的である。これを最近各小學校、幼稚園に於て大いに歡迎せられ、汎く行はれる所以であらう。この本は、曲譜、童謡、舞踊と相對照して編輯してあり、殊に舞踊の振付は精密な繪畫を以て説明が出来る。幼稚園にては是非一本を備ふべき名著である。

四六倍大 豪華美本 定價金貳圓

送料拾四錢

東京市芝區南佐久間町二丁目

發行所

コドモノクニ發行所

東京社

振替東京二五七〇番

幼稚園令公布十周年記念講演會御案内

本年は幼稚園令公布十周年に當りますので左記の通り記念講演會を開催いたします。御來會を得ば幸甚の至ります。御案内申し上げます。

時 七月二十一日午前八時半より正午まで

所 東京女子高等師範學校大講堂

講演

挨拶

東京女子高等師範學校校長 本會々々

下村 壽一君

講演

東京文理科大学長

森岡 常藏君

講演

國民精神文化研究所長

關屋 龍吉君

講演

文部省參與官

山 枡 儀重君

來會申込 七月十五日までに本會(東京市小石川區大塚町三十五番地)宛。御住所、御職名御明記御申

込み下さい。

昭和十年七月

日本幼稚園協會

注意

一、右二十一日は本會主催夏季講習會第一日ですが、講習會とは別に、その日だけの御案内を申し上げます。(會費不要)

二、御來會者中、現在教育事業に御關係の方に限り、汽車賃割引券(五割引)を御送り申し上げますから、御職名とその送り先きを御明記の上、特に七月十五日までに本會に着致す様御申越し下さい。(その後は御送り出來ません)

保育夏期講習會（第七回）

この夏も左記の通り第七回の保育夏期講習會を開催いたしたいと存じます
本年も亦昨年の講習會に於ける皆様の御希望を参考と致しまして理論よりも實際に重きを置いて講師及科目を選んでおります
幼児教育に直接携はれる先生方は勿論其經營者及將來この方面に進出せんとせらるゝ方に御入會を切にお勧め致します

昭和十年六月

主催 佛教保育協會
後援 佛教各宗々務所

要 綱

- 一、期 間 昭和十年七月二十七日より三十一日まで五日間（毎日午前八時より午後三時まで）
二、會 場 東京市芝區愛宕町一丁目八番地 智山派宗務所講堂

（△市電 田村町四丁目下車 約二丁
△市バス 放送局下車 スグ前）

一、講師及科目

一、保育の本義（四時間）

本會の第一回講習より御出講せられて幼児保育の理論に實際に御指導を頂いております本會は特に保育の本義と題されて從來動もすれば閑却され勝な保育の實際精神に就て御説示されます

東京女子高等師範學校教授

倉 橋 惣 三氏

二、幼児に接する保姆の心境（二時間）

ラヂオの修養講座で全國にその名を知られられます高神先生が今同特に出講せられて平素幼児を取扱つておらるゝ保姆さん方に「清涼の世界」と題されて精神修養のお話をして頂きます

智山専門學校教授

高 神 覺 昇氏

三、幼児の唱歌發聲法（八時間）

毎年の講習會に於て皆さんから非常な期待と敬慕を以て迎へられておらるゝ先生が本年も亦出講せられて幼児に對する唱歌の發聲指導に就て懇切に御指導されます

東京音樂學校講師

梁 田 貞氏

四、幼児の遊戲指導（十時間）

東京女子高等師範學校助教授

戸 倉 ハ ル氏

昨年第六回の講習に於て始めて御出講せられてその御熱心なる御指導に對して皆さんから非常な感謝を以て迎へられましたので本年も亦特に御出講を請ひ幼児の遊戲の實際指導をして頂くことになつてゐます尙時間數も昨年より二時間増加して皆さんの御期待に沿ひたいと考へてゐます

佛教保育協會保姆養成所講師

一、手技製作の新教材(五時間)

ト部 たみ氏

幼児の手技製作に就ては不斷の御研究と努力を拂つておらるゝ先生が最近一ヶ年に御考案されました新しい教材に就て發表並に指導をされることになつております

一、科外講話 講師、

本會會長前文部政務次官 安藤正純氏
同副會長中野高等女學校長 富田數純氏
同副會長東洋大學教授 關寬之氏

一、講習科 會費 金貳圓五拾錢也

一、定員 貳百名

一、申込書 東京市芝區愛宕町一丁目八番地 智山派宗務所内

一、申込期日 七月二十日迄(但し會場の都合により定員超過の場合は期)

一、宿泊 一泊二食付金壹圓參拾錢にて會場より半丁左記高級旅館を御世話いたします

一、鐵道割引 東京市芝區田村町四丁目二番地 千歲館(市電田村町四丁目下車)

一、見學 本講習に参加せらるゝ方に限り全國各地より鐵道旅客運賃往復三割引の特典が與へられます

御注意

申込書入用の方又は講習に就ての御問合は左記へ願ひます

東京市芝區愛宕町一丁目八番地智山派宗務所内

佛教保育協會夏期講習會事務所

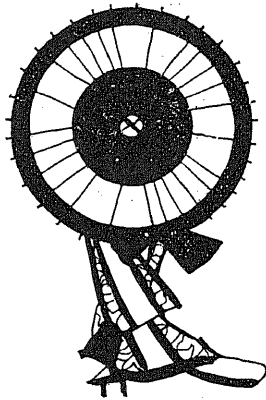
振替口座東京七八六六七番
電話 芝九八九番

兒童舞踊界の第一人者 島田 豊先生著 (いよく製本出來)

兒童舞踊傑作集

斯界一流權威の總動員

童謡集、曲譜集、舞踊集の一大集成



作曲
童謡

振付

島水葛佐與横若野西中
谷原藤田山杉口條山
田まし義準青三雨八晋
豐るる美一娥郎情十平

島田先生は當代兒童舞踊界の權威である。深く童心を理解したその流麗な舞踊振は、見るものをしつて恍惚として魅了せずには置かない。即ち最も現代的であり、かつ教育的である。これを最近各小學校、幼稚園に於て大いに歡迎せられ、汎く行はれる所以であらう。この本は、曲譜、童謡、舞踊と相對照して編輯してあり、殊に舞踊の振付は精密な繪畫を以て説明が出来る。幼稚園にては是非一本を備ふべき名著である。

四六倍大 豪華美本 定價金貳圓

送料拾四錢

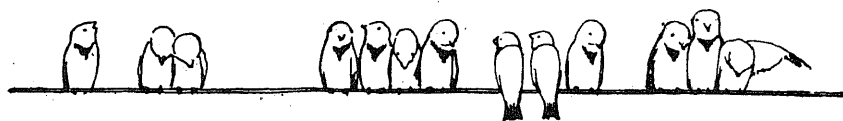
東京市芝區南佐久間町二丁目

發行所

コドモノクニ發行所

東京社

振替東京二五七〇番



第 七 號 幼 兒 教 育 第 三 十 五 卷

—(次 目)—

口 繪

卷 頭(幼稚園令公布十周年)……………倉橋惣三(一)

幼児保育に關する研究調査……………堀 七 藏(二)

保姆への希望……………佐々木 等(一〇)

夏の幼児童謡(下)……………葛原しげる(一五)

木の葉を觀て描く……………新庄よしこ(三)

當選童謡……………(三)

素人に出来る木工の話(二)……………山 形 寛(元)

あなたの机の上へ……………(四)

兒童心理學文獻抄(九)……………牛島義友(四)

童話大きな贈りもの……………武田雪夫(咒)

幼兒の談話について(速記)……………内山憲堂(五)

雜 錄……………(空)

最新刊

椿の花輪

青木歌子先生作歌
下總皖一先生作曲

四六倍版上製美本
定價金八拾錢
送料金八錢

新しい作曲法による童謡曲集、歌詞は青木先生、作曲は新歸朝の下總先生、本書の發賣により現今の童謡形式一變す。御試唱を乞ふ!!

(一)夕立(二)河原であそぼ(三)蟻のひつこし(四)赤い草の實(五)砂山のぼろ(六)水鐵砲(七)風がふくふく(八)がらがら桐の實(九)雪うさぎ(一〇)杉並木(一一)ちらちら小雪(一二)星ミチヨコレート(一三)小さい夢(一四)目高の兵隊(一五)椿の花輪(一六)僕のポケット(一七)競走

川 草	協 會	協 會	協 會
最新音樂教育學	兒童唱歌	子供の舞踊	
定價 三・八〇 〒〇・一八	全六冊 定價各冊〇・一六 〒各〇・二	全二冊 定價各〇・六〇 〒各〇・八	
協 會	福 井	協 會	
本邦音樂教育史	兒童唱歌七十一曲集	エホンシャウカ	
定價 三・〇〇 〒〇・一六	定價 三・〇〇 〒〇・一二	春・夏・秋・冬 全四冊 各冊〇・三五 〒各〇・二	

振替電話 東京 六〇八 四三八 〇番
東京 三ノ町 田區 一十一番

音樂教育書出版協會

東京 三ノ町 田區 一十一番



(附屬幼稚園)

幼 児 の 教 育

昭 和 十 年 七 月

幼稚園令公布十周年

幼稚園令公布十周年に當つて、先づ思ひ出づるものは、その日の全國幼稚園の喜びである。大正十五年四月二十一日。日本の幼稚園教育が初めて獨立の教育令の下に置かれたのである。次に追懷にたえないのは、この公布を見るに至るまでの全國幼稚園先覺の長い努力である。年々歲々の諸大會の建議は、力強く此の新令の公布を促したのであつた。

時の文部大臣岡田良平氏の名は、我國幼稚園發展史の上に永く記憶せられなければならない。殊に、幼稚園の教育的職能と共に、その社會的意義を強調せられた現代的意義は最も貴い。

本會は、今夏の保育講習會を機會として、その第一日を、この記念のために獻げること準備してゐる。當日の講演者諸氏は、皆當時の公布に深き關係をもつ貢獻者である。集ひ祝する者は、皆幼稚園令の精神の普及と徹底に重き任務を擔つてゐる貢獻者である。

希くは、本會のこの小さき企が、我國幼稚園の全國同志によつて、強く共鳴せられんことを。

幼兒保育に關する研究調査

附屬小學校主事

堀

七

藏

一、諸外國の保育學校及幼稚園

エレメンタリー・スクール・ジヤナル五月號に保育學校及幼稚園の統計的な記事がある。それによると、英米諸國の保育學校及幼稚園の發達狀況を推知することが出来る。

英國に於ては、二歳より五歳までの幼兒の十三%が幼稚學校（インファントスクール）にゐるし、新に七百の保育學校を設置する案が實現せられつゝあるといふ。

またロシアでは、過去五年間に三歳から七歳までの幼兒、百五十萬人が幼稚園に入園し、この入園者數が次の五年間には倍加する筈であるといふ。

この他の諸國、イタリー、チッコスローバキヤ、ハンガリー、ポーランド等に於ても、幼稚園及保育學校が著しい發達をなしたといふ。

米國では一般に想像せられてゐるほゞ、幼稚園が廣く發達してゐない。一九二九年に於て、幼稚園年齢の幼兒四人につき一人しか公私立幼稚園に入園してゐない。即ち百人に付二五%の割合である。それが一九二九年以來、十八%に減少した。それで今日幼稚園は僅かに六十一萬五千の幼兒を入園せしめてゐるので、幼稚園年齢の幼兒五人に一人の割である。

いふ。勿論保育學校は幼稚園よりも發達してゐない。例へば一九三〇年に六萬五千の幼児が保育學校に入學してゐるにすぎない。尤もそれより以後、米國で保育學校はその入學者を倍加するだけの發達を上げてゐるさういふ。

二、我國の幼稚園及託兒所

我が國の幼稚園は、明治九年に創始せられたもので、その歴史は相當に古く六十年になつてゐる。また幼稚園令並に同施行規則が制定せられて今年で十年になる。しかも我が國に於ける幼稚園の現状はどんなであるか。

年次	園數	保姆	幼兒		幼稚園一につき幼兒	保姆一人につき幼兒
			男	女		
六	一・五一〇	四・六五七	六二・九四六	五九・〇二九	八〇・八	二六・二
七	一・六二二	五・〇一二	六五・三九八	六一・一六六	七八・〇	二五・三
八	一・七〇八	五・三三三	六六・二五七	六二・七四四	七五・五	二四・二

種別	施設數		保護人員	
	公設	私設	公設	私設
乳兒保護	五	一四	四三九	一七・九四八
託兒所	一二九	四六〇	一一・〇一一	四八・四六四
育兒	三	一二一	一・〇一六	五・六九五
兒童相談	二八	八八	二七・〇五六	一四三・八五八
不具兒教養	一	一	一	一四

即ち昭和八年三月末に於て、全國の官公私立幼稚園が一千七百八である。そして幼稚園の幼兒數、男女合計一二六、五六四人である。即ち十三萬に足らぬ幼稚園幼兒である。

また社會事業としての兒童保護に關する昭和六年度の統計を見るに次の如くである。

虛弱兒保護	—	六	—	七六二
病兒保護	三	一四	五・四八二	六・六四二
貧兒教育	一二	二七	一・六四五	三・二二四
勞働兒教育	—	一〇	—	五一五
感化教育	四一	一九	三・二七五	五四五

右の統計中、託兒所のみを考へるこゝ、その數五百八十九、幼兒數は五九、四七五人である。之を幼稚園と併せて考へるこゝ、幼稚園及託兒所數二、二九七である。また收容幼兒數はザツト十九萬である。之を全國の四歳、五歳の幼兒數三百十二萬に比するこゝ、僅かに六%にすぎぬ。かく我が國の幼稚園託兒所は近時著しく發達してゐるが、諸外國の情況に比するこゝきは我が國幼稚園託兒所の發達は頗る遅々たるものである。

尤も歐米諸國の家庭は夫婦本位であり、夫婦共稼をなす場合に於ては、幼兒の保育を擔當するものがない。それでは非幼稚園や保育學校に入れねばならぬ。しかし我が國は家族制度が發達して居るが爲め、諸外國の如く幼兒を是非幼稚園や保育學校に託けて保育せねばならぬ要求に迫られてゐない。この點を考慮して我が國幼稚園の健全なる發達を計劃せねばならぬ。單に數字だけの比較で、我國幼稚園發達の遅々たるを悲觀するには當らぬ。

三、女高師附小入學志願者の履歷

東京女子高等師範學校附屬小學校、昭和十年一月、尋常小學第一學年入學志願者につき、幼稚園に通園した者、通園しない者、を統計するこゝ、左の如くである。

性別	調査人員	通園した者	通園しない者	同歩合
男 兒	七六	六七	八八・一六	一一・八四
女 兒	九二八	七一七	七七・二六	二二・七四

右の表中、女兒の通園した者には一年二年が最も多く、中には一ヶ月三ヶ月位のものもある。また幼稚園には通園しないが、ピアノ、書き方、英語等の稽古をした者も少数ある。

要するに東京市の如き大都市であれば、相當幼稚園に在園する者も多い。また東京女子高等師範學校附屬小學校なぎに入學志願をなすものは檢定準備のために多く幼稚園に通ふさいふ有様である。

四、母乳哺育と人工哺乳

東京女子高等師範學校附屬幼稚園に於て入園申込の際、幼兒の哺育方法につき届出たるものにつき統計するに次の如くである。この調査は入園志願者が提出せる履歴書によつて、學校看護婦篠崎ハル氏が調査せられたものである。

そして入園志願幼兒の保護者が哺育の方法につき届出たものであるから、誤がない筈である。昭和六年より昭和十年に至る最近五ヶ年間の統計である。只昭和八年の履歴書の一部が見當らず、爲めに著しく同年の調査人員が減少してゐる。

尙ほこの調査に於て、「母乳」にあるは、勿論生母の哺乳させたものであるが、「乳母」にあるは特に乳母の乳を以て哺育したものである。まだ「牛乳其他」にあるは、牛乳やミルクなぎで人工哺乳をなしたものであり、「混合」にあるは母乳と牛乳なぎ混合して哺乳したものである。一日に數回牛乳なぎを用ひたものが普通であるが、或る期間だけ専ら牛乳なぎによつたさいふものもあらう。

性別	榮養種別		昭和六年		昭和七年		昭和八年		昭和九年		昭和十年		五ヶ年間合計	
	母乳	乳母	母乳	乳母	母乳	乳母	母乳	乳母	母乳	乳母	母乳	乳母	母乳	乳母
男	九	五	七	五	一	五	〇	一	〇	九	二	六	三	七
女	六	一	六	一	三	〇	九	一	六	一	六	一	六	一
混合	一	九	一	六	五	一	七	一	七	一	〇	六	一	〇
調査人員	一	三	九	八	二	三	一	四	一	九	一	四	八	五

検査人員	女		母乳		混合		検査人員		混合		検査人員	
	牛乳	乳母	乳母	乳母	牛乳	乳母	牛乳	乳母	牛乳	乳母	牛乳	乳母
四八七	三九九	七	三六七	二〇二	三三三	二〇八	一・四八九	二一	二一	八五	二一	八五
四八七	二二三	二二	二二	二二	二〇	八	八五	二一	二一	八五	二一	八五
四八七	五八	五八	五八	五八	四六	三二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
四八七	四八七	四八七	四八七	四八七	四八七	四八七	四八七	四八七	四八七	四八七	四八七	四八七

この統計表によれば、東京市の如き大都市に於ても、母乳哺育のものは男児で四百八十五人中、三七三人、即ち七九・一〇％である。また女児で一、八二六人中一、四八九人、即ち八一・五四％である。

更に混合哺育で、一部母乳によるものは男児で四八五人中六七人、即ち一五・一〇％、女児で一、八二六人中二三二人、即ち一二・九〇％である。故に母乳を全然使用せずして、人工哺育によるものは、男児で四八五人中、四五人、即ち九・八〇％、女児で一八二六人中一〇六人、即ち五・五六％である。

この統計から推定し得る如く、我が國では人工哺乳は頗る少く、殆ど大部分は母乳によつて哺育するものである。

五、哺乳と體格

哺乳の種別が如何に體格に影響するかを調査するが爲め東京女子高等師範學校附屬幼稚園に入園し、更に同附屬小學校に入學したものに付き、統計をさるゝ、次の結果である。この調査は昭和二年より昭和八年までに附屬幼稚園に入園せる幼児について統計したものであるから、満四歳以前のこは不明である。また満四歳で附屬幼稚園に入園するこは檢定合格者だけについての統計であるから、その點も豫め考へて置かねばならぬ。また附屬幼稚園より更に連續して附屬小學校に入學せるものを選択したのであるから、調査人員の少いこは誠に遺憾である。

第一表 母乳のもの(女)

茲に身長、體重、胸圍があるはそれ／＼調査人員の平均身長、平均體重、平均胸圍である。

第二表 牛乳其他(女)

年齢	身長	體重	胸圍	發育概評	榮養	調査人員
五	九八・三	一四・四	五一・五	甲 一	甲 二	七
六	一〇四・九	一六・〇	五三・一	乙 三	乙 四	七
七	一〇九・六	一七・五	五五・五	丙 二	丙 三	七
八	一一四・六	一九・五	五六・九	甲 二	甲 一	七
九	一二一・五	二一・八	五九・八	乙 一	乙 四	五
一〇	一二八・二	二〇・六	五八・五	丙 一	丙 〇	一
一一	一二三・三	二二・六	六〇・〇	甲 〇	甲 〇	一
一二				乙 〇	乙 〇	一
五	九九・六	一五・一	五一・五	甲 一七	甲 五四	一〇四
六	一〇六・〇	一六・八	五三・七	乙 六	乙 四七	一〇四
七	一一一・三	一八・五	五四・二	丙 四九	丙 四一	一〇四
八	一一六・九	二〇・四	五六・五	甲 四〇	甲 四七	一〇四
九	一二二・五	二二・六	五八・八	乙 四一	乙 五三	一〇四
一〇	一二七・七	二五・〇	六〇・九	丙 一四	丙 四四	八五
一一	一三三・二	二七・九	六四・一	甲 二五	甲 四一	七一
一二	一三九・五	三一・四	六六・八	乙 二七	乙 三五	五九
五				丙 四	丙 一	四二
六				甲 八	甲 一六	二七
七				乙 一六	乙 一	
八				丙 三	丙 一六	
九				甲 一五	甲 二四	
一〇				乙 二二	乙 二四	
一一				丙 二七	丙 三五	
一二				甲 二〇	甲 四一	
五				乙 一〇	乙 三	
六				丙 一	丙 〇	
七				甲 一	甲 〇	
八				乙 二	乙 〇	
九				丙 三	丙 〇	
一〇				甲 四	甲 〇	
一一				乙 五	乙 〇	
一二				丙 六	丙 〇	

牛乳其他のものは比較的少數である。殊に十歳、十二歳、十二歳では調査人員が一人又は〇である。

第三表 混合哺育のもの(女)

年 齢	身 長	體 重	胸 圍	發育概評			榮 養			調 査 人 員
				甲	乙	丙	甲	乙	丙	
五	九四・二	一四・三	五〇・九	五	八	八	八	一	二	二一
六	一〇〇・二	一六・一	五三・四	二	一	八	一	〇	〇	二一
七	一一〇・五	一七・八	五四・二	六	一	三	六	一	一	二一
八	一一五・七	二〇・〇	五六・六	五	九	一	五	一	〇	一八
九	一二二・一	二二・三	五九・〇	四	七	一	六	一	〇	一七
一〇	一二七・二	二四・四	六一・二	一	〇	三	五	九	〇	一四
一一	一三一・二	二六・二	六三・一	二	一	〇	八	三	〇	一
一二	一三九・一	三〇・二	六六・八	二	三	一	四	二	〇	六

第四表 乳母の乳で哺育せるもの(女)

年 齢	身 長	體 重	胸 圍	發育概評			榮 養			調 査 人 員
				甲	乙	丙	甲	乙	丙	
五	九六・二	一三八	四九・七	〇	〇	二	一	二	〇	三
六	一〇三・六	一五・七	五二・二	〇	二	一	二	一	〇	三
七	一〇八・八	一六・九	五三・三	〇	二	一	一	二	〇	三
八	一一四・六	一八・七	五五・五	〇	二	一	〇	三	〇	三
九	一二〇・五	二一・六	五七・五	一	一	一	二	一	〇	三
一〇	一二八・〇	二三・一	五七・八	〇	一	一	一	一	〇	二
一一	一三〇・六	二三・八	六一・五	〇	〇	一	一	一	〇	一
一二	一三四・三	二六・〇	六三・〇	〇	〇	一	〇	〇	〇	一

この表では調査人員が僅少であるから、身長、體重、胸圍などの平均値がよく表はれてゐない。

次に哺乳乳種別による身長、體重、胸圍の比較表を示す。

第五表

年齢	哺乳乳別		5		6		7		8		9		10		11		12	
	母乳	乳	母乳	乳	母乳	乳	母乳	乳	母乳	乳	母乳	乳	母乳	乳	母乳	乳	母乳	乳
身長	母乳	乳	99.6	106.0	111.3	116.9	122.5	127.7	133.2	139.5								
	牛乳其他	乳	98.3	104.9	109.6	114.6	121.5	118.2	123.3	—								
	混合	乳	94.2	100.2	110.5	115.7	122.1	127.2	131.2	139.1								
體重	母乳	乳	96.2	103.6	108.8	114.6	120.5	128.0	130.6	134.3								
	牛乳其他	乳	15.1	16.8	18.5	20.4	22.6	25.0	27.9	31.4								
	混合	乳	14.4	16.0	17.5	19.5	21.8	20.6	22.6	—								
胸圍	母乳	乳	14.3	16.1	17.8	20.0	22.3	24.4	26.2	30.2								
	牛乳其他	乳	13.8	15.7	16.9	18.7	21.6	23.1	23.8	26.0								
	混合	乳	13.8	15.7	16.9	18.7	21.6	23.1	23.8	26.0								
胸圍	母乳	乳	51.5	53.7	54.2	56.5	58.8	60.9	64.1	66.8								
	牛乳其他	乳	51.5	53.1	55.5	56.9	59.8	68.5	60.0	—								
	混合	乳	50.9	53.4	54.2	56.6	59.0	61.2	63.1	66.8								
胸圍	混合	乳	49.7	52.2	53.3	55.5	57.5	57.8	61.5	63.0								

右の表を注意して検するとき、身長に於ても體重に於ても母乳哺育のものが第一位であることは動かさない事實である。只胸圍に於て、七歳、八歳、九歳、十歳に、「牛乳其他」や「混合」が「母乳」に優る様であるが、これは調査人員が僅なる爲であらう。今後三四年經過し、調査人員の増加せるに再びこの調査研究を繰返す積である。

兎に角右の統計表だけによつても人工哺育に比し、母乳哺育が遙かに優秀なことは、單に哺乳期間だけの問題ではなく、幼稚園並に小學校を通じて十二歳までも影響することは明白である。

保姆への希望

東京女子高等
師範學校教授

佐々木 等

見たこともないものゝ説明をせよと言はれても、その眞髓を擲んで話すことは六ヶしいことである。食べたことのない食物の味を説明をせよと言はれても之又難事である。私は幼稚園まいふものを知らないで保姆への希望なきまいふテーマを掲げて論ずることは、烏滸がましき極みである。自分でも感じて居るのでありますが、丁度子供を幼稚園に通はせたこともあり、又幼稚園に行く頃の子供も居るので、多少幼稚園まいふものはこんなところかまいふ見當がつく様に思はれる。しかし之は自分丈けのことであつて、他人には響かない問題かも知れないが、素人の見方まいふものは思切つたことを言へるものであるから、暫らく素人の幼稚園の皆様に對する希望を述べさして頂きませう。それにはあの時代の子供について觀察して見る必要が先行する。

あの時代の子供まいふものは驚くほゞ正直なものだ。お腹が空いて來れば餘程賸けられなければ食べたいまいふ氣持を抑へるこの出來ない時代である。殊に甘いお菓子については餘程魅力を感じるらしい。

子供の胃袋は割合に小さいから、一時に澤山食べれるわけには行かない。従つて間食の必要が起つて來るわけだ。お八つまいいつて朝の十時と午後の三時頃は子供が最も楽しい時で時計の見方を早く覺えるのはお八つを食べたいばかりに覺えるのである。即ち食せんとする自然的の心の叫びが、彼等に時計の針の指しどころを覺えさせるのである。食ふまいふことは子供が育つために、必然的に要求される本能の働きである。彼等を導くに、お菓子によつて、果物によつて指導するこ

こも一方法であるかと思ふ、がしかし幼稚園時代は教へるこが多くてはならない。近頃の幼稚園は教へ過ぎて居やしないか靜かにふりかへつて見る必要はないだろうか。

そうはいふものゝ、子供といふものは大人を學ぶものであるからかくすべきである。大人に要求するが如く要求するこは當を得てゐないにしても、子供らしさを失はない程度に於て、正しき方向へ導くこを忘れてならない様に思ふ。

食ふこに關聯して種々なる注意が與へられなければならない。之れは全國津々浦々の幼稚園の保母方の十二分に了解して居られる常識であつて、今更私如きものゝ云爲するを要せざるこは思ふが、子供の手といふものは實に不潔になり易いものであるといふこに氣づかなければならない。

それに氣づいたら、手をよく洗はせるがよい。手を洗はせるこは、只汚いからといふだけではない。子供時代に恐ろしい消化不良に陥る原因は此手から來るこに注意しなくてはならないのである。

例へば砂遊びをする。汚い話であるが、犬の糞なごや、他の子供の小便なごしてあるところを平氣で砂いぢりをして遊ぶといふこがある。そんなところで遊ばさなければよいのであるが、しばしばそんなこがある。又その邊の手摺さか、三和土さか石段さかを平氣でなげたりするものであるから、幾多の微菌が手に附著する。その手を以てお菓子や果物なごを食べたときには病氣を起さないこが、寧ろ不思議といふべきであつて、大抵かゝる些細なこが原因となつて取返しのつかないことなる場合がなしとしない。故に手は綺麗に洗ふ習慣をつけるこを此時代から考へてやるこを要すると思ふ。

次に植物の發育する爲めには相當の水分を必要とする如く、子供が育つ爲めには大人の想像以上に水分を必要とするものである。子供がよく咽喉が干いたといつて、水呑場に殺到するのは大人の比ではない。彼等は、常住遊ぶ中に水がなく

ては居れないと見えるらしい。此の要求も、彼等が發育するためにはなくてはならないものであるに違ひないから、又水を呑むなと云はずに、良い質の水であれば適度に與へてやることを忘れてはならないと思ふ。

子供が發育する爲めに、食物を體外から攝取することは既述の通りであるが、彼等は食べるこいふ以外によく遊ぶものである。彼等の遊びこいふものは實に愉快そのものであつて、大人の想像も及ばないところであるに違ひないと思ふ。

彼の人形遊びを見よ、彼のマ、ゴト遊びを見よ、彼の砂遊びを見よ、一として彼等が生活に眞剣味を與へないものはないのである。本當のお母さんになつたり、本當のお父さんになつたり、本當にトンネル開鑿の工夫の氣持になつたりして居る。遊びは彼等に取つては頗る大事な發育要素なのである。あの時代に於ける子供の遊びは精神の發達に、身體の發育に頗る重要なものであつて、もしそれ、あの時代から遊びこいふものを取除いたら一體さうなるだろうか言ふまでもなく、全く變挺子なるものになつて仕舞ふではないかと思像する。

遊びは自己教育の一形式であつて、之によつて、自己の内容が豊富になり、對他的、意識が高められ社交性は養はれ、一層自己の存在が明かになり、益々自己を擴充しようとするに到るものである。自己を擴充するこいふことは、決して他を排斥するこいふ意味のものではない。他と協力しながら自己を擴充して行くこいふことが出来るのである。

あの時代は自己的の時代であることは否むわけには行かない。従つて他と争ひをなすこいふことが屢々ある。その争たるや實に單純であつて、何かの奪ひ合であるこいふことが多い。例へばお菓子の多寡さか、詰らないものゝ自己占有さか、原因をなしで居る場合が多い。しかしながら、大人と違つて、あの時代の争ひは直ぐに忘れて仕舞ふものである。

遊びなごに於ても時折争ひが起る。縄跳で誰さんが先に跳んださか、一遍跳ばせなかつたさか、いふこいふことが原因で泣いたり騒いだりする。

かゝる遊びの間に、漸次洗練されて、圭角は多少なり削られて来るものである。遊びによつて本當の人間が出来上る言はれて居るが如く、全くその通りであると思ふ。

Man is whole when he plays.

更にあの時代にはよく遊びよく食べてよく眠るものである。大人であつても、毎日／＼此の三つの仕事を繰返して居る言はれる位であるが、子供の時代は特によく睡眠を取る必要があることを輕視してはならない。

之皆彼等が伸び行かんとする自然的要求であつて、その要求を最もよく、最も無理のない様に導いてやることが保母の責務ではないかと思へるのである。

あの時代の子供は種々な言葉をよく覺えるものである。先生といふ言葉の内容は、恐らくあの時代はさしつくりして感得して居る時代はないではないかと思ふ。

従つて先生の一舉指一投足が直ちに子供等の鑑となるのである。言葉違ひは勿論のこと禮の仕方、歩き方などまでよく影響するものである。あの時代の先生はオールマイティである、先生のすべてを信する時代である。先生には汚ないことなどあり得ないと思へる時代である。

先生の服裝がキチンと整つて立派であれば、何きよい先生であらうと思得するに違ひないばかりか之を模倣しようと思へるのである。

あの時代の子供は正直だに茲に述べたが、美を美と感じ、醜を醜と感じることも、かく判斷することも正直である。従つて、美しい感じのする人が、彼等によい感じを與へることを思ふとき、他の社會の人々よりも、美しい人達が保母として望ましい様に思ふ。勿論、單に外形的の粉飾の美だけでなく、精神の美も抜きにするわけには行かない。否寧ろ此こ

を忘れてはならないのである。徒らに絹絲の美を以て美なりとするこゝは誤れるものといふべきである。

尙ほ望ましきこゝは、子供等の心になり切るこゝにつきめるこゝそれである。子供等の心になり切る様にいいつても、全くなり切るわけには行かないかも知れない。何故なれば大人であるからである。けれども、努めて、彼等の心持を心持して生かして行くこゝがなくては眞の保母ではないと思ふ。印度の詩聖タゴール翁は、大人も赤子の心を失ふ勿れといつて居るが、私はも一步進んで赤子の心と一體になる様にするこゝがあつて欲しいと思ふのである。タゴールの言つて居るこゝは、多少意味が違つて居るかも知れないが、眞に子供の立場に立つて子供等の相手となるならば、必ずや彼等は満足するに違ひないと思ふ。

嘗て私は小學校の低學年を擔當した經驗を持つて居るが、「晨に新しいシャツを着て、夕には泥まみれになるこゝを決して珍らしいこゝではなかつた。彼等は自分よりも強いもの、大きなものを倒すこゝに無上の快味を感じるらしい。従つて、運動場に出て行けばきまつて引籠されたものであつた。それ丈けならまだよいとしなければならぬが、シャツを引張る。その手は汚い！中には鼻の下、二本棒をシャツにくっつけるし倒しては馬乗りに乗る！丸で蚯蚓に隙間なく蟻がついて居る様なもので、白いシャツは臺なしになるといふ有様であつた。

之を以て子供を叱るこゝは當を得たものではない。彼等の精神的満足を與へてやるこゝは、教育上如何に有價値なるものであるかを考へるこゝ、嗚呼自分はよいこをしたと嬉しくなつて仕舞ふ。之は自分の淺い經驗であるから皆さんの御参考にはならないかも知れないが、眞に子供の心となつて彼等と同一體となつたとき其處に始めて自己を忘れるといふ崇高なる感に打たれるのである。子供は神の子である。神の子の直ぐ、すくよかに伸々伸び行くこゝを眺めて、誰か快く思はないものがあるであらうか！私の皆さんに望むこゝは此一點にかゝるのである。暴言多謝。(一〇、六、一二、土

さ、氣の毒さ。

折柄、急に、バサリ！底の方から、大きな鯉がそれを狙つて浮き出るや、一口に其の麩を呑み込んでしまつて渦巻を残して沈んで行つたりします面憎さ。

その後では、小さな鯉が、おごろきはしたものの、まだ麩の匂を探して水面を泳ぎ廻る可愛らしさ。

小さな鯉

梁田貞氏作曲

小さな鯉に麩をやれば

大よろこびで寄つて来て

皆で バクバク

つゝきます

つゝいて見ても食べられぬ

麩は大きくて食べられぬ

皆で泡を

ふくばかり

（「大正幼年唱歌」第二集）

この各節の結句

「皆で バク バク

つゝきます」

「皆で 泡を

ふくばかり」

は説明に過ぎますので、

「皆で、つゝく

バク バク バク」

「皆の泡が

ブク ブク ブク」

こもしてみました。此の様に、擬聲擬態で終る事は、幼児向のものには、最も効果的であります。「つゝきます」こか「ふくばかり」こかの説明文にしない方が、輕快味も豊かです。

○

「こほろぎ」蟻の寓話も今更ではありませんが、夏の努力家、精勤者は、蟻であります。蟻は、朝から晩まで、せつせこかせいで倦む事を知りません。お庭に出てみますと、人目につかないながらも、きつと、蟻がをります。しかも、蟻の居るや、必らず、動いてをります。その動くや、必らず、急いでをります。決して、のろ／＼してゐません。大きい蟻でも、小さな蟻でも、必らず、忙しげに走つてをります。謂はゞ、蟻は、終に、駆廻つてをります。何といふ努力でせう、何とした精勤でせう。

そして、もし、餌を見つけるや、忽ちにして、列を造つて、ゾロ／＼行列がはじまります。その餌物へ向つての行進がはじまります。さて、その獲物を運ぶさなるこ、何といふ協心協力でせう。全身の力を傾注して、押す、引張る、前へ廻り、後へ戻り、めい／＼の力の有りつたけを出し合つて、えんやら、うん、うん、ほん／＼に涙ぐましい活動です。

蟻の活動を見てゐますこ、つひ、忙しさも忘れて、いつまでも飽く事を知らぬ現在の私でもあります。——大きな坊ちやんをお笑ひ下さい、——しかし、蟻の曲は、類が少ないでせう。しかも、之は、作曲者が、まづ音によつて蟻の活動を表現されたのへ、歌詞を、あてはめたものです。「分捕物」にいふのは、少し困るかゝ案じてゐますが、桃太郎でなくても、コドモの世界の獲物は、かういふかゝ、作曲者ゝ協議の上で、つかひました。もし、いけませんでしたら

「大きな獲物」

こも致しませうか。また、後の、

「何處まで曳くか」

こは問ふまでもない、自分達の巢まで運ぶのですが、その巢は、何處に有るか分らないから、やはり「どこまで曳くか」です。

蟻

梁田貞氏作曲

チヨロ／＼／＼　チヨロ／＼／＼

大蟻　小蟻

チヨロ／＼／＼　チヨロ／＼／＼

ゾロ　ゾロ　ゾロリ

毎朝早く

毎晩おそく

チヨロ／＼／＼　チヨロ／＼／＼

ゾロ　ゾロ　ゾロリ

えんやらや　えんやらや

前からひけば

えんやらや　えんやらや

後から　押すよ

力を合せ

分捕物を

えんやらや　えんやらや

何處まで　曳くか

○　（「大正幼年唱歌」第十集）

私は、夏毎に、東京の空地で、また人通の少ない街路で、慨いて佇むことが屢々です。何故、東京の男兒は、あんなに、さんばを追つかけまはすのでせう。現に、昨朝も、寓居を出て、舊藩主邸の外堀に沿うて坂を下つて行きますと、毎朝幾人もの登校姿のコドモに會ふあたりで、一男兒、ランドセルを背負つたまふ、長いもち竿を持つて、急に、坂を上らないで、駆け下り出したのを見ました。その眼は、その竿は、地上高からず、一匹の蜻蛉の飛ぶのを追ひかけるのでした。

「さうぞ、うまく逃げますやうに！」

私は、急ぎ足に下つて行きました。その一男兒を追つかける様に。

さんばは、身輕に、あわてもせず、急に高くも舞ひ上らず、波打つて追つて來る竿の先に擦々に、それでも、辛うじて

逃げて行くのでした。一度はその翅に、竿の先は觸れたのですが、大丈夫、生垣の上へ逃げてしまつて、廣い邸内へ舞ひ込みますよ、男兒は、

「もちが利かなくなつたな」

と獨言をいつてゐるのでした。ほんきに、東京の男兒は、何故、あんなに、蜻蛉を、親の仇の様に、追つかけまはすのでせう。狩獵ばかりして食物を得てゐた祖先の子孫だからきて、もう、そんな潜在したものは、忘れても宜いではありませんか、路上でも兒童の遊びには、干渉したくない私ですが、何度

「さんぽをさるのは、お止しなさい」

さいつたか分りません。又、「親子のさんぽ」さいふ一篇をも、にして、コドモの籠に捕へられた子供さんぽが、親を慕うて泣き、歸つて來ぬ子供を待ちかねた親さんぽが、戸手の藪かげで、泣いてゐるこゝを歌つて、人間のコドモに、親子の情を感じさせ、また、さんぽは捕らぬ事にさせやうと願つたこゝもあります。私のコドモ本位のニコピン主義には反してゐますが、此の如きは、センチメンタルな、さういはず同情愛憐さこそ、悦びたくて――。

さて、これは、さうした蜻蛉についての悩みでなくて、唯、輕快に大空を切つて元氣よく、眞一文字に飛ぶ蜻蛉です。さうした蜻蛉を呼ぶ心持です。これも、曲が先に出來たのに、歌詞をあてました。するさ、「さんぽ」のアクセントが、反對になりました、即ち「さ」よりも「ぽ」が下つてしまふ事になりました。曲全體は非常な名曲ですが、名詞としての「さんぽ」が、歌はれる時、「さんぽ」に聞えないので、先年、私自らも作曲してみまして、平調子の箏曲にしてみましたところ、意外によい曲ださうでして、私の近親の家庭では

トーン テ チン

チン、テ、ツ、チン

ミ、箏で、ひいて悦んでゐます。しかしそれは

さんぼ

さんぼ

こんで来い

ミ歌ふのです。ミすつばぬいては、いけなかつたのですが、さうぞ、蜻蛉は、歌にもし、繪にもし、願はくば、ピアノでも、琴でも三味線でも歌つて幼児の時から、これを可愛がらせて下さい。

さんぼ

梁田貞氏作曲

さんぼ さんぼ

来い 来い

兩羽根

ひろげて

涼しい風に

スーイ スイ

こんで来い

（「大正幼年唱歌」第六集）

○

さゝ舟、笹の舟。笹の葉の舟。これは、のびやかな夏の遊びです。しかし、笹舟は、中々、眞直には流れて呉れません。それも、舟の作り方が下手な時は、重心が正しくなくて、中心を失ひ勝で、流れ出したと思ふと、すぐ、沈没するのさへ有つて賑かな笑ひ聲を誘うて、愉快です。

「や、や。あぶない。あ、沈没！」

「あ、あぶない。あぶないく」。

「なーに、大丈夫。それ、しつかり。それそれ、しつかり」。

ビッコをひいて流れるのは、却つて速くて愉快です。ふら／＼しながらも、危なつかしく速いのであります。

實は、私共人生の行路にも之があります。私共は、笹舟を流してみても、まさに、人生を思ひ合はさせられます。沈むと思へても、何ミか、その難關を切抜けるミ、急に速力を出して進む——それは、人の一生の中にも有るミことです。

私は、此の一篇を覺えた幼児が、成人してのちも思出して此の歌詞の心に觸れて、たゞへば失意の時には力を湧かせ、順風に帆をあげてゐる時にも、油斷せず、人生の行路に、不斷の努力をつゞけ、希望を失はないで、目ざす前途に前進するミ、正に、此の笹舟の如かれミ、祈つてをります。

しかし、幼児に、そんな理窟をいつてきかせたり、こんな説明をしてはならぬ事は、申すまでもありません。

さて、歌詞として、第一節の「流れて、浮いて」は

「流ながれに 浮ういて」

では如何でせう。「流れて、浮いて」は、事實から申しますミ、

「浮いて 流れて」

が正しいのです。しかし、これは「四、三」の起りにつゞく自然のリズムですから、やはり「四、三」でなくてはなりません。もし、「三、四」につゞくのならば、「三、四」でも宜しいですけれども。

又、第三節の

「不出來な舟 速い」

は「六、三」です。これは、「不出來な」を倍の速さで、二拍に歌つてしまふのですが、それが却つて、「ビッキリ、コッキリ」に調和します。

次に、「ビッキリ、コッキリ」は、ビッコをひく様なビッキリなのですが、ビッキリといひますと、一般に、驚く事です。即ち、驚いた様に、

ビッキリ コッキリ

しながら、の意にもなりますが、もし、

ビッキリ コッキリ

としては如何でせう。しかし、説は有りませうけれど、驚いたやうに、

ビッキリ コッキリ

しながら流れて行くのですから、やはり、さうしておきたいのです。又、

「沈むこ見えて」

は、實は、

「沈むこ見えても」

なのです。

「沈むこ見えながらも」

なのです。此の反語の意味の「て」は、幼兒にも分るこ信じます。英語の “*and*” が、決して、いつも「そして」でなく「や」や「と」でないのと同じです。

さゝ舟

宮城道雄氏作曲

笹舟 小舟

流れて浮いて

ビククリ コククリ

ゆくよ

不出來な お船

沈むこ見えて

ビククリ コククリ

ゆくよ

きの船 速い

不出來な船速い

ビククリ コククリ

速い

(箏曲童謡第五集)

夏の自然は、實に、人間の爲にも、たへず、愉快な贈物をして呉れます。初秋の蟲もさる事ながら、「蟬の大聲」は何うです。喧しいさはいはないで、よく、耳傾けて下さい、あの小さな體で、あの大聲の出る事は、如何に、萬物の靈長さ、まも、顔色なしではありませんか。何でも、人間なら、東京の丸の内ビルディングを、高飛で、一跳に、飛び越えなくては、虱に敗けになるのだと聞きました。それと同じに、蟬の聲の大きい事から考へますと、人間は、此の體を以てしては、もつと／＼大きな聲も出なくてはならないのです。しかし、何も聲の大きいばかりが、えらいのではありませんから、安心して、唯、きいてをれば宜しいのですが、全く、大きな聲が出るものですね。

せ　み　　梁田貞氏作曲

お倉の向で　　ないてゐる

ミン／＼蟬が　　ないてゐる

大きな聲で　　ミーン　　ミン

小さな體で　　あんなこゑ

ミン／＼蟬が　　ないてゐる

ミン／＼蟬が　　ないてゐる

向の森でも　　ないてゐる

カナ／＼蟬が　　ないてゐる

大きな聲で カナ／＼ カナ／＼

小さな體で あんなこゑ

カナ／＼ 蟬が ないてゐる

カナ／＼ 蟬が ないてゐる

(「大正幼年唱歌」第二集)

一體蟬があんな大聲で、夕方になつても、まだ啼くのは、一生懸命啼きつゞけるのは、何うしてやせう。

さう考へてみますと、何か、人間に、知らせるのではないでせうか。

もし、人間に知らせるゝすれば、何んな事を知らせるのでせう。

人間は、蟬の聲をきけば、

「夏が來ました」

こいひます。ですから、「夏だ／＼」と知らせるのでせう。

ミンミン 蟬が ないてゐる

梁田貞氏作曲

ミンミン 蟬が ないてゐる

向の森で ないてゐる

大きな聲で ないてゐる

一生懸命 ミーンミン

ミンミン 蟬が ないてゐる

夕日をあびた森の木で

涼しい聲で よい聲で

夏だ夏だミーンミン

○

太陽の方に向つて咲くさいふ花、日まはりの花、大きな花、よく見るミ、實に複雑な花ですが、ぎつしりミ厚ぼつたい花ですが、極めて、無雜作に、唯、「日の方へ」さいふ心持が、嬉しいではありませんか。その單純さ、その平明さ。私は、如何にも、幼兒向の花ミ見て、悦んでゐます。朝顔が、ラッパの形の花である事が嬉しいミ同じく。そして、朝顔ミは、眞反對に、暑さを悦ぶ元氣よさは、さうです。

歌詞の、「キラ／＼／＼／＼」ミ「キラ／＼／＼」ミの區別も、御注意下さい。朝の光ミ、眞晝の光です。また、「ニコ／＼ニコ」ミ對照の「ナヨ／＼／＼」は、弱すぎますが、軽く歌はせたいミころです。さうして、

「元氣な花の 向日葵よ」

は、

「元氣な花よ、

向日葵よ」

さした方がよかつたかこも考へられます。

向日葵

梁田貞氏曲

キラ／＼／＼／＼ 日がてり出せば

ニコ／＼／＼／＼ 向日葵が

大きな花を

よろこぶやうに

東の方へ 向けてゐる

ギラ／＼／＼／＼ 日が照りつけば

ナヨ／＼／＼／＼ 草も木も

しをれるほどの

暑さの日でも

元氣な花の 向日葵よ

(「大正幼年唱歌」第六集)

○

夏の涼味は、曉風、曉露、そして、實に、夕立から湧出ます。夕立は、まづ、電光と雷鳴とに前觸れさせ、時に疾風一過、すぐ、バラバラと大粒に降つて來ます。人間と共に不意を打たれる動物の中で、遠出をしてをつた鶏と、今朝早く繕つて、立派に完成した巢の中央に陣取つてゐた蜘蛛とで、夕立をあらはしました。鶏が、垣根をくぐるのは、取り立てゝいふ程の事でもありませんが、木戸の方へ廻らないで、體をすくめても、すれ／＼にも、無理にも、近道をして戻つて來るのです。しかも、「コ、ケ、コ、コ、コケツコ」啼きながら、スタカットの心持で、ミツミツと戻つて來るのです。又、蜘蛛も、「こりや大變だ、濡れては大變だ」さばかり、あわてふためいて、逃げて行くのです。此の二つの動物の「ミ」んで來る「様」、「にげて行く」様によつて、夕立は、いよ／＼面白いものになります。

夕 立

小松耕輔氏作曲

ピカ／＼光る いなびかり 電

ゴロ／＼なり出す雷に

おごろき あわてゝ 垣根をくぐり

鶏 にげて さんで来る

コケココ

コッコ ミ さんで来る

ザワ／＼木の葉がゆれ出して

バラ／＼降り出す大雨に

八つ脚ひろげて るばつてをつた

大きな蜘蛛が にげて行く

スタコラ

サッサミ にげて行く

○ (「大正幼年唱歌」第六集)

夏は、地上の物みな暑い中に、海ミ、山ミだけは、涼しさうではありませんか。

しかし、目の前の海や、近い山は、まだ、現實すぎて、やはり、夏のものしか見えません。遠くの遠くの、廣い海こそは、暑さから絶縁されてゐさうではありませんか。同じく、遠くの／＼高い山こそは――。

此うした涼しさを表現したくて、すつきりした形を、並べました。ごたく／＼しないで、風通しのよい様に、海ミ、山

こ、兩者は、相離れてゐても、平行させて、よく、風の吹き抜ける様にしました。

海の風山の風

宮城道雄氏作曲

一、夏です

海です 廣いです

朝でも 晝でも 日暮でも

涼しい風の わくところ

さほくの さほくの廣い海

二、夏です

山です 高いです

朝でも 晝でも 日暮でも

涼しい風の 湧くところ

遠くの 遠くの 高い山

(箏曲童謡第五集)

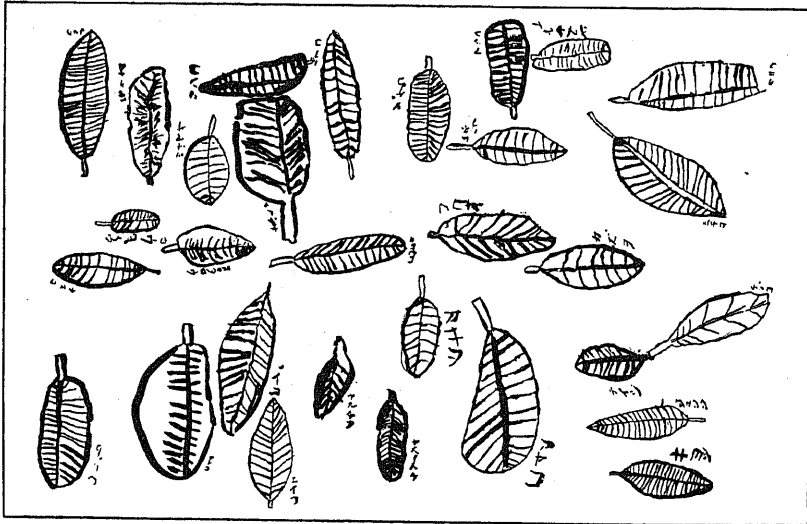
(次號「秋の幼年童謡」)

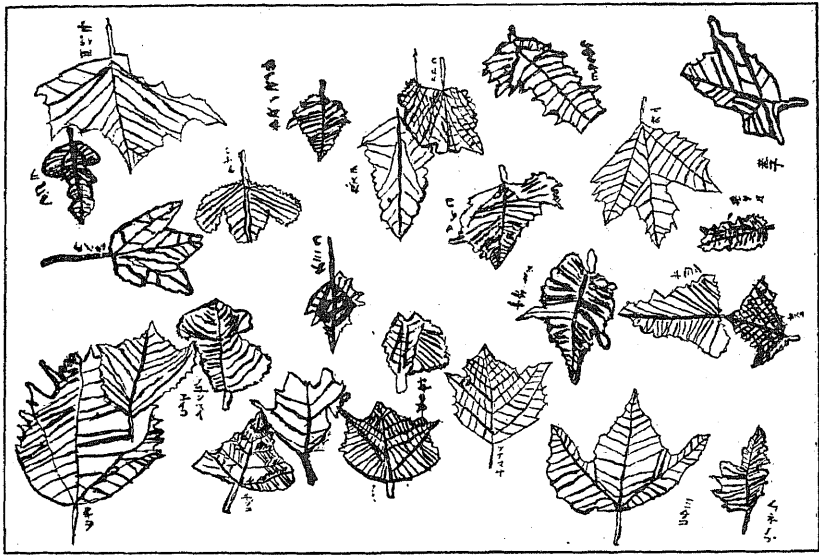
木の葉を観て描く

新庄 よしこ

幼稚園へ泰山木の枝を二本持つて来て下さった方がある。大きく開いた白い花、その甘い香り、厚みのある濃みぎりの葉なさを二三日楽しんだ。一つの花は咲き崩れてしまつたが、あきに残つた大きな蕾や葉は、水をかへた玻璃瓶にまだいき／＼してゐた。一枚の葉をこつて紙の上において見るこ、その單純さが子供にもたやすくかき寫せそうに思はれて早速こゝろみたのがこの圖である。

まづ、何色でも淡い色のラシヤ紙を机の上に廣げておく。見よい位置にこの葉をおき、鉛筆で形をこらせる。その時、なか／＼筆が進まず、又はこの葉に全く違つたものになりそうに思へたら、そばからもつゝ大きくさか、よく観てさか、すぢはこゝ迄つゞいてゐるでせうなぎこ口添へ





し、出来上るまじづかに鉛筆の上を毛筆でなぞらせる。
かうして二三人づゝ描いて居るま、次々にそばに寄つて来るのであまから来た子は順が来る迄見せておく。かうして全部出来上つたものを見るま、一枚の葉が幼児一人づゝの心のようにそれゝ變化があつて面白い。

こんなこまをしたあまで、庭の木々を見なほして見るま、この年ごろの子供に、容易にうつしされるものま、なかゝゝむづかしいものまある。次には藤、さくら、つばき、樅、やつで、薦、やなぎ、いてふ、紫陽花なぎの中で鈴懸をかいて見た。

かうして観て描くま云つても、その木の名稱を覚えさせようといふわけではない。いろゝゝの木の葉があるまいふこまを、手近にある二枚の葉でいくらか印象を深めたまいふ程度に過ぎないま思はれるが、私には大そう面白いこまであつた。

保育講習會

期 間

七月二十一日ヨリ同二十六日迄

場 所

東京女子高等師範學校(東京市小石川區大塚町)市電 窪町停留所前

講習科目及講師

○幼稚園令公布十周年記念講演(二十一日午前)

挨拶
講演
講演
講演

東京女子高等師範學校校長
本會 會長
東京文理科大学長
國民精神文化研究所長
文部省 參 與 官

(講演順)
下村 壽一 君
森岡 常藏 君
關屋 龍吉 君
山 榊 儀重 君

○第一部 (午前八時ヨリ正午マデ六日間)

一幼兒ノ性情ノ涵養(十一時間)

東京女子高等師範學校教授
附屬幼稚園 主 事

倉 橋 惣三 君

一幼稚園ニ於ケル手技製作ノ實習(六時間)

東京女子高等師範學校
保 姆 兼 教 諭

及 川 ふみ 君

一幼兒ニ聽カセルお話ノ實際(二時間)

早 蕨 幼稚園 園 長

久留島武彦 君

○第二部 (午後一時ヨリ四時マデ四日間)

一幼稚園ニ適切ナル唱歌遊戲ノ實習(十二時間)

東京女子高等師範學校助教授

戸 倉 ハル 君

時間割表

月 日	第一 部	第二 部
七月二十一日	八時—九時—十時—十一時—十二時 記 念 講 演	一時—二時—三時—四時 講 師 倉 橋 惣三 君
七月二十二日	講 倉 橋 惣三 君	講 戶 倉 ハル 君
七月二十三日	講 倉 橋 惣三 君	講 戶 倉 ハル 君
七月二十四日	講 倉 橋 惣三 君	講 戶 倉 ハル 君
七月二十五日	講 倉 橋 惣三 君	講 戶 倉 ハル 君
七月二十六日	講 倉 橋 惣三 君	講 戶 倉 ハル 君

講 習 料

宿 舍

申 込

申 込 資 格

鐵道割引特典

第一部(記念講演ヲ含ム) 金 參 圓
第二部(記念講演ヲ含ム) 金 貳 圓
兩部 共 通 金 四 圓
本講習員諸君(女子ニ限ル)ハ御希望ニヨリ東京女子高等師範學校ノ閑靜ナル寄宿舎(講習會場ト同位置)ニ宿泊ノ便宜ガ供セラレマス、宿泊料一泊(二食付)金壹圓貳拾錢
聽講、宿泊イヅレモ七月十日迄ニ本會講習係宛(東京市小石川區大塚町東京女子高等師範學校附屬幼稚園内日本幼稚園協會)ニ講習料ヲ添へ御申込ミ下サイ。御住所(受信所及ビ奉職所名)必ズ御明記置キ願ヒマス。講習料ハ振替(東京一七二六六、日本幼稚園協會)ヲ御利用下サイ、講習料受領證ニカヘ會員證及汽車汽船割引券ヲ御送附シマス。
幼稚園保姆、幼稚園長、幼稚園教育關係者、託兒所保姆(本年ハ例年ノ文部省保育講習會ガ東京ニ開カレマセンノデ、本會ガ主催イタシマシタ。從ツテ文部省講習ノ場合ノ如ク地方長官ノ推薦手續ヲ要シナイノハ素ヨリ、地方人員數ノ制限モアリマセン。御自由ニ本會ヘ直接御申込ミ下サイ。
準備ノ都合上ナルベク早ク御申込ミ頂クト幸デス
汽車賃五割引 (省線、社線共)
汽船賃三割引 (大阪商船大連、基隆航路及近海郵船基隆航路)
割引期間 切符購入ハ七月七日ヨリ七月貳拾六日迄
通用期間 乗車券發賣ノ日ヨリ八月九日迄

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

昭和十年六月

日本幼稚園協會

○入會お申込みの節、會員證と鐵道割引券とお送りいたします縣、市、町、番地と御姓名とを振替口座又は爲替に詳細に明瞭に御記入置き下さい。



入選發表表

募集
童謡



本誌四月號で募集致しました幼児のうたの歌詞は、六月十五日の締切日迄に皆様から五十餘篇をお寄せ下さいました。爾後當研究部にて選衡の結果、左の通り決定いたしました。

全國から斯く多數應募下さいました事は斯道の爲に洵に喜ばしい事と存じます。

入選(三篇)

ホタル

名古屋市立第三幼稚園 青山綾子氏

雨

東京大和郷幼稚園 杉山米子氏

メダカ

千葉女師附屬幼稚園 渡部きよ氏

選外佳作(一篇)

ふしん場

熱海町西山氏 原 銀氏

ホタル

ピカ
ピカ
ピカ
ピカ
ピカ

ホタル
ガ
ト
ブ
ヨ

ピ
カリ
ピ
カリ

ハ
ツ
バ
ノ
カ
ゲ
デ
ヒ
カル

青
山
綾
子



雨

杉山米子

一 雨が 雨が 降つて居る

聞いてごらんよ 音がする

ピチ／＼ バシヤ／＼ 音がする

ほらくお池に降つて居る

金魚はさうして居るかしら

二 雨が 雨が 降つて居る

聞いてごらんよ 音がする

ポツン／＼ミ 音がする

ほらくハツ手に降つて居る

晴れたら葉つばが光るだろ



メダカ

渡部 きよ

一 スーイ スーイ スーイ スーイ

メダカノ ギョーレツ スーイ スーイ

一ビキ 一ヒキ 三ビキ 四ヒキ

ミンナデ ナカヨク オヨイデク

二 キレイニ スンダ カワノミヅ

メダカノ コドモハ カワイイナ

ドコマデ ドコマデ イクノデセウ

スイ スイ スイ スイ オヨイデク



ふしん場

鋳

女

一 のごぎりのおこ

ゴシ
ゴシ
ゴシ
ゴシ

かなのおこが

スー
スー
スー
スー

くぎをうつおこ

トンカチ
トンカチ
トントントン

二 さんかくしかく

だいくさんがくれた

きのきれこぎれ

つみきにしませう

くぎをうつまね

トンカチ
トンカチ
トントントン



素人に出来る木工の話 (二)

東京女高師教諭 山 形 寛

空箱を利用していろいろな物を作る

作ること

前回には鋸の使い方ミ釘の打ち方に就てお話致しましたが、あゝ言ふ基本的のこまばかりでは、素人の方に面白くありませんから、今回は、木製の空箱を使つて二三の物の作り方をお話致します。

木製の空箱と言っても、大はお茶箱、ビール箱、石油箱から、サイダー箱、蜜柑箱、菓子箱等々大小各種あり、中には立派に鉋をかけた美しいものもあるが、製材したまゝのものを組立てた粗製のものもあります。これ等の空箱は、この家庭にもごろ／＼して居つて、只じやまになるばかりで、しまひには焚附けにする位のものでせう。然しこんな箱でも少し手を加へるゝ、子供のおもちや箱になつた

り、本箱になつたり、料紙箱になつたりします。そして素人のかうした製作品は賣品なぎに見られない一種の味ひがあり、特に自分の作つたもの、お母さんの作つたものだになるゝ、愛着の念も起り、捨て難い趣味のあるものです。前置きはこれ位にしまして、實際の作り方の例を二三お話いたします。

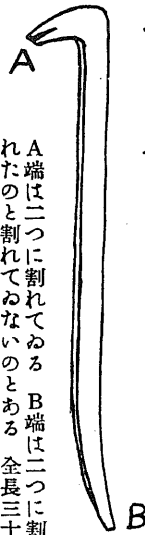
一 ビール箱で作つた本箱

以前には大形のビール箱がありまして、いろいろ利用範圍が廣かつたのですが、今日では大形のもののは枠組になつて居るものが多く、利用されるのは小箱だけになりました。

このビール箱は幅約三十九糎、長さ約四十五糎、高さ約十八糎あります。表面は殆ど削つてありません。この箱を

使ふには先づ蓋をならなければなりません。蓋は中の物を出す時にたいいてい取つてある筈であります。それでも端の方なごに残つて居る部分があるかも知れません。その蓋をこるには、圖に示すやうなカジヤミ稱する道具を使ふこ

カ ジ ヤ



A端は二つに割れてゐる B端は二つに割れたのと割れてゐないのとある 全長三十厘位のものがよい

便利です。カジヤの頭の二つに割れてゐる部分を、釘の頭を挟むやうな位置に金槌で打ち込んでこければよいのです。然し工夫すればカジヤが無くともこれです。

蓋をこつたあごに、まだ釘が残つて居つたなら、カジヤが釘抜きかを用ひて皆抜きこります。抜けないものは打ち込んでよいでせう。

以上が出来たら棚をさうつけるかを考へます。圖に示したのは最も簡単な一例ですが、違棚風の棚をつけるのも面白いでせう。

棚板をつけるには、蓋を利用して、先づ幅を奥行の内法寸法に合せて鋸で切ります。内法寸法と言ふのは、箱の内側の深さのことです。

次に棚板の長さを、箱の内法の幅の長さに合せて切りま

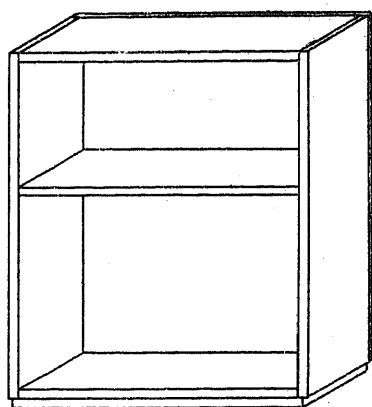
す。この長さは少しでも短くなつては拙いのです、少しかたくて叩き込まねばならぬ位がよいのです。尚ほ板は豫め三角定規か直角定規を使つて、正しい矩形になるやうに線を引いて置いて切るがよろしい。

棚板が出来たら、箱の内側に棚板の當たる位置を正しくものさしで測つて畫いて置き、箱の外側から釘を打つて止めます。

尚ほ蓋板の餘りで、幅約二センチ位の棧を作り、之を底の周圍へ約五ミリ位引込めて釘で打ちつけます、かう言ふ部分を普通に臺輪だいわと言つて居ります。

以上で本箱の形はすつかり出来たのですが、これだけでは表面が削つてないのですから、ざらざらして使へません。何か上へ塗つて滑にしなければなりません。

表面に塗る材料としては、ペンキ、エナメル、セミフア



ルトなごがあります。

ペンキやエナメルは普通塗料店や、藥屋などに素人の使へるやうに出来た罐入のものを賣つて居ります。こ

れを塗るには、箱の表面のひきくけば立つて居るやうな所は、粗い紙鏝でこすつてけはを落し、板の接ぎ目や、節、なごには寒冷紗で目貼をします。目貼をするにはベニヤ糊其の他の強い糊を用ひます。箱の隅も目貼をして置けば最もよろしい。

ペンキやエナメルは刷毛で塗ります。刷毛は幅三センチ位のものでよろしい。塗る時の注意としては一時に厚く塗らないことです。一時に厚く塗る（特にエナメルの場合）は何時迄たつても中まで乾きません。表面だけ固まつて

も中まで固まらないと障ればはがれて來ますし、又表面に皺が出来たりして拙くなります。それで初めはざら／＼して居つてきたなくとも、極うすくすり込む程度にして置きます。そして乾いてから又上に塗るやうにしますとよく行きます。

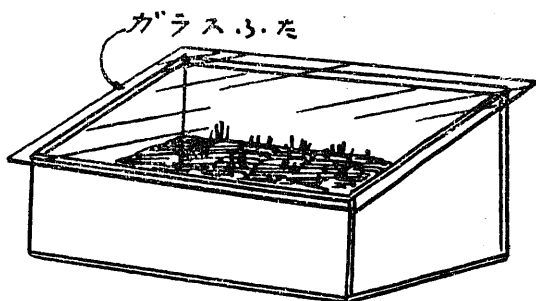
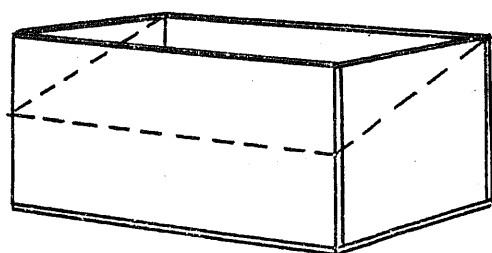
セミファルトは、アスファルトを砥の粉を練り合せてナフサを混ぜて半流動體にしたものです。これは無論黒色をしたもので、少しいやな匂ひがしますが、よく乾けば臭氣は抜けます。これは篋か毛の硬い刷毛かで塗るのです。塗つたものは漆塗のやうになります。

刷毛は使つたならばテレビンでよく洗つて置きます。さうしないとかたまつてしまつてあきで使へなくなります。

二 石油箱で作る簡単なフレーム

これは必ずしも石油箱に限りません。果物なごを入れて來る大箱なごでも結構です。

作り方は極めて簡單で、圖に點線で示してあります位置に線を引きまして、その線の所から鋸で挽き切つただけでよいのです。



蓋は普通は枠を組んで硝子戸風にしたものを用ひるので
すが、こんな小さなものだ、唯板硝子を一枚か二枚用ひ
て蓋にただけで結構です。

底には板の隙間が相當あればそのまゝでもよろしいが、
さうで無い場合には水はきの孔を適當にあげます。

こんな簡單なものでも、家庭や幼稚園で、なぐさみに草

丈の低いいちごのやうなものクロッカスのやうなものゝ促
成栽培をして見るゝ相當面白いです。又苗床なぎに使つて
も面白いです。

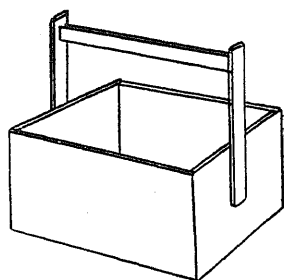
これは別に何も塗らなくてもよいのですが防腐劑でも塗
つて置けば、一層よいでせう。又底を抜いて、下方三厘ば
かりを地にいけて置いて置いてもよろしいです。

三 蜜柑箱で作つた炭取

木製の炭取は、普通に作れば餘程技術のある職人でも相
當困難な仕事に屬するのです。それは如何によく作つても
木材の乾燥のため、ごこかに隙間が出來ます。さうします
ミ炭の粉が漏れるのです。水の漏らないやうに作るごこは
そんなに困難ではありませんが、炭の粉のもれないやうに
作るごこは困難なのです。

それで素の方が作られるには、さうしても箱の表面を何
かで貼るか、塗るかして、隙間をすつかりつぶしてしまは
なければならぬのです。

蜜柑箱を利用して炭取を作るには、先づ蓋を取りまし
て、木の接ぎ目や、箱の隅、節なごの部分、すつかり寒



冷紗で目貼します。目貼は
セミファルトを用ひてする
がよろしい。

次に蓋の材料を利用し
て、圖に示すやうな提手
をつけます。

全體をすつかりセミファ

ルトで塗つて仕上げます。

セミファルトは、唯塗つただけでもよろしいが、塗つた
面を海綿で軽く叩くか、丸炭を横斷した切口をよく水で洗
つたもので、軽く押へて菊花狀の型をつけるかして模様を
つけ、すつかり乾いてから紙鑢でこすりまします、相當美し
いものになります。

空箱の細工もいろいろありますが今日はこの位にして置
きます。尙ほ空箱もすつかりほごしてしまつて素材に還元
して新しく作りかへれば、どんなものでも出來ますが、そ
れは新しい材料を使つて作るのミ變りありません。さう言
ふやり方を次回に二三お話いたしませう。

會告 八月號休刊

本誌八月號は休刊し、九月に於て兩月號
を合冊發刊することにいたします。

皆様にはお暑さおいとひなさいまして、
ます／＼お健やかにお過しの程お祈り申し
上げます。

昭和十年七月

日本幼稚園協會



あなたの机の上に

内山憲堂氏著

児童話の話し方と實例

特に幼児への話し方と實例とを示されたもので、著者は、長い間幼児童話について深い研究をして居られた内山憲堂氏である。

わが國には、昔から傳へられてゐるお話がかなり澤山ある上に、次々に新しいものが作り出されたり、今迄のものでも現代向きに作りかへられたりして、材料そのものは有り過ぎる程豊

富にあるように思はれる。その數ある童話を如何に選び、いかに取扱ふか、又童話に對しての正しい認識を與へられたのがこの書である。

從來のかうした著書に比して、いかにも實際に即して行届いた書き方であり、これを一讀すれば自信を以て幼児に話が出来るような氣がする。といふのは、著者自身が聖美幼稚園の園長であつて、常に自ら幼児へお話をされてゐるからであり、序にもある通り「談話の参考書を求めたが皆無である、

差し當り必要に迫られ、幼児童話に對して一般の人にも少し關心を持つていたゝきたい一念から」まとめられたといふから、幼児及び談話に深い熱と愛を持つて書かれたからであると思ふ。

内容の要は、幼児童話そのものゝ研究、その發生分類等、その教育的價值及び要素、組立等、實際の方面では先生の言葉、音聲、セスチューア等が懇切に説かれて終りに代表的な實例を擧げてゐる。

これを讀んでゐると著者にお目にかかつてゐるような親しさを感じるのも常に童話に親しんで居られる氏の人が自ら書の上にもあらはれるのであらう。(二・八〇 東洋圖書株式合資會社)

兒童心理學文獻抄 九

牛 島 義 友

兒童の知覺界

五、幼稚園兒を中心として

前數回に亙り、最初の二ヶ年間の乳幼兒の精神發達について諸研究を紹介したが、次に其後の數年間の兒童、即ち幼稚園に通ふ年頃の子供に就いて研究して行く事にしよう。此時期の子供は本誌讀者の最も關心を持たれるものと思ふ故に多少前よりも詳細に紹介したいと思ふ。

此の時代は乳兒時代と異つてヨチ／＼した歩き方を益々しつかりして來、そこらを駆け廻りそろ／＼おいたをして困らせられる様になつて來る。身長も目に見えてスク／＼伸び、六歳頃は生れた時の二倍の身長に達する。生活力も旺盛で死亡率を見ても、も早乳兒時代の危険期は去り年毎

に體の方の心配は減じて來、それと反對に知識は増加し、言葉數は恐ろしくふえ、特別な習慣が形造られ、個性が明瞭になつて來る時代である。それ丈に此の時期は精神的面の配慮が最も大切な時代である。人間の性格の基礎は實に此の時期に養はれるのであつて此の時期に養育指導宜しきを得ないで此の次の學齡兒の頃からそろ／＼困つた性質を現はして來る。不良兒なきが最初の不良行爲をなすのは七、八歳頃からであるが、此の原因は此の學齡前の時期の親の教育に起因するのである。

然らばこの時期の子供を如何に教養すればよいかといふ問題は此の時期の精神發達に即して考へねばならない。先づ基礎的な精神活動として彼等の知覺の世界から研究しや

う。

牛島、永松、兒童の知覺界に就いて 心理學研究、第五卷、昭和五年。

物を見るさいふ働らきの中には形、色、大きさ、位置の要素が含まれて居る。此の四つの要素が一つでも缺けるものを正しく見る事は出来ない。併し此の四つの要素が子供に同じ様に重要なのではなく、例へば位置などは子供の知覺の世界には餘り重要なものでない云はれてゐる。即ち子供はよく繪本を倒さまにして平氣で見入つたり、右向きの人の繪を模寫させるに左向きに描いてすまして居る。

又子供の描いた繪を見るに形は如何にも不器用で劃一的で特色がないのに、非常に豊富な色彩を用ひて居る事に氣付くであらう。又一般に子供は色のついた玩具を好む。是等の事は子供の生活に色彩が特別な意味を持つて居る事を示す様である。

故に是等の四要素に關係を調べて見る事は興味がある。その方法はカツ氏(D. Katz)の三圖形法によるのであるが、之は次の様なやり方になされる。今例へば色と形

のいづれが重要な要素であるかを決定するには先づ赤色の三角形を示しその下に赤色の四角と青色の三角を二つ並べて置き、此の中どちらが初めのによく似てゐるかを尋ねる。我々大人にこんな事を聞かれると一方の方は初めのものの色は同じだが形はちがふし、他方は形は同じだが色がちがふので、どちらがよりよく似るかとは定めかねるに答へる。即ち概念的に考へる爲に答が定まらないが、幼兒に斯る概念的は思考はなさず見た感じで直ぐ右の方が似てゐるか左の方が似てゐるか簡單に答へる。今もし子供が赤の四角の方が似てゐる云へば形よりも色が重要な要素である事を示し、青の三角の方がよりよく似てゐるに答へれば形の方が重要な手掛りとなつてゐる證據となる。斯るやり方で四つの要素の重要性を調べていつた。

山手方面の四幼稚園と下町方面の二幼稚園の男兒百十二名女百八名合計二百二十名が此實驗に参加した。年齢から見ると三歳から六歳の子供である。

(I) 位置關係 口形の尖線が右向になつて居るものを標準として左向のものと下向のものを示し、何れが前者に似

て居るかミ質ねた處、さちらも似ないミ答へたものは九・九%で他は何れかに似てゐるミ云つて居る。併し左向四十四%下向四十五%で大差はなかつた。併し此刺戟圖形は元來尖線が下に付てゐるようが横に付いてゐるようが大した意味のない圖形である故に、今度は左向の鳥の形を用ひた、之に對して九十度横倒れの位置のものミ右向のものミを較べさせた。元來鳥は立つて居るものである故に横倒れの位置は奇異の感を起させるミ考へられる、事實横倒れの方が似てゐるミ云ふものは三十一%しかゐらないのに對し、右向の方は六十三%居る。故に前の圖形の様な元來一定の位置を要求しないものゝ場合にはどんな位置に置かれても同じものミ見られるが後者の様に一定の位置を要求するものだミ位置が重要な意味を持つて來る。

(II) 大きさ 蟻や蚊の如く小さな動物の形を標準として、それよりも小さい蚊ミ大きな蚊ミを示した。蚊は元來小さなものであるから小さい蚊の方を選ぶ者が多いだらうミ豫想した。所が此豫想に反して大きな蚊を選ぶ者が相當に多かつた。之は是等の圖を蚊ミか蟻ミは知覺せず、¹かぶ

ミ蟲²ミか³「さんぼ」等ミ見てしまふ者が居た爲ミ思はれる。

(III) 大きさミ位置 大きさミ位置ミ何れが重要な要素であるかをみるに殆んぎ同じ程度に重要であつて、位置が變るミ同じ物ミ見られなくなるし、又大きさが異つても違つたものミ知覺されて來る。

(IV) 色ミ位置 デクードル(Descoudures)は色が同じならば位置が異つて居ても同じミ知覺する者は九十三%に對し、色は異つてゐる位置が同じ方を選ぶ者は七%に過ぎなかつたミ報告して居るが、今此實驗に於ては前者四十九%に對し後者四十八%で殆んぎ相違がなく、色に對して位置が對等の役割を演じて居る。

(V) 色ミ大きさ 前のデクードルは色を選ぶ者九十四%に對し大きさを選ぶ者は六%しか居なくて、色さへ同じならば大きさ等はいくら異つても同じ様なものミ知覺されるミ報告して居るが、此實驗の結果は色を選ぶもの四十五%、大きさを選ぶ者五十二%で、大きさが矢張相當重要な要素ミなつて居る。

(VI) 色ミ形 此問題は多くの論争ミ異る結果を示して居

る故に詳細に述べる事にしよう。

カッツ(D. Katz)は丸、四角等の幾何學的圖形に就いて研究した處四年八ヶ月以下までは例外なしに色の同じ方を似て居るに云ひ四年十ヶ月の子供から始めて形が同じ方を似て居るに云ふ者が現れて來たが、全體から見れば色の方が多く、精神發達の低い段階では色が主になつて居るに云つて居る。其後彼は此考を動物に就いて證明せんとし、レベス(Revesz)と共に鶏に就いて験べた處豫想通り色の方を選んで居た。併し猿に就いて實驗した處反對に形の同一の方を選ぶ者が多くて、説明に困つて居た。次にデクードルは圓、三角等の無意味な幾何學的圖形の場合には色の同一の方を選ぶ者が多いが木とか人等の有意味圖形を用ふるに形の同一の方を似てゐるにかなす者の方が多くなつて、刺激の性質によつてちがふことのべてゐる。

シヨル(Scholl)はデクードルと同じ様な結果を出し、人間には形を主に見る型を主にする型があるを考へて、類型學の問題に結び付けて居る。即ち乖離性の人(無口、控へ勝ち、小心な型)には形型が多く、燥鬱性(社交的、情

緒豊か、寛大)の者には色型が多いと述べて居る。もし斯る事實が確證されるならば、色を見るか、形を見るかといふ風な簡單な事によりその人の一般の性質が分る事になり甚だ興味ある問題を含んでゐる。

ブライアン及びグーデナフ(Brian and Goodenough)の結果によるに三歳以下の子供には形に基いて選ぶ者が多く、三歳頃より色による者が現れ初め、六歳頃迄は半々の形で現はれ、それ以後は段々形の方が多くなる。かく年齢によつて著しく相違のある事を見出した。此の様に色と形の問題が色々複雑な形に發展して居るが、此の牛島・永松の研究に於ては幾何學的圖形の場合には色を選ぶものの平均二四・七%、形の方を選ぶ者、六八・二%、及び木や花の様な有意味のものも同様で前者二四・五、後者六九・二%で以上の結果と相違し、トビー(Tobie)やキューンブルグ(Küenbourg)の結果も同様になつて居る。

その後西谷謙堂氏(兒童に於ける色と形の知覺、哲學第二輯)は同様な方法で幼稚園兒、小學兒童に就て研究した所、幼稚園兒童は色の方が多いが小學兒童になるに急に形

の方がふえて居る。

植松正氏（児童の知覺判斷に於ける色彩ミ形象ミの競合問題 教育心理研究第八卷）は、託兒所児童百九十四名に就て研究した所色型が五十五%、形型が四十五%となつて、いづれも幼稚園児童には色型の方が多くなつて居る。

今幾何學的圖形並に有意味圖形の結果に就て諸研究の結果を表示するミ次の如くなり、それ々の結果は一致せぬが大體に於て色型の方が多くなつて居る。併しその割合はフォルケルト、カツ（人數も實は非常に少ない）の様に色型が壓倒的に多いミは考へられず、寧ろ半々に近いミ考へるのが正しからう。又有意義圖形無意味圖形等の刺戟の條件によつて結果が異なつて來る故に簡單に結論を下す事は出来ない。

併し小學兒童になるミ形の方が多くなる事は從來の結果が一致して居る故に大人になる程形態が知覺の主要な要素となつて來る事が考へられる。此の意味では初めのカツの考へ方即ち色彩は原始的なものであつて、精神の發達に従つて形の微妙なる相違に興味が移り知覺の世界が精密に

	幾何學的圖形		有意味圖形	
	形型%	色型%	形型%	色型%
フォルケルト	0	100		
カツ	15	85		
デグードル	31	69	61.5	38.5
シヨール	37.2	50.9	50.9	39.2
ブライアン、グーデナフ	48.9	51.1		
トビン、ブー	39.5	33.3		
キュンブルグ	65	35		
牛島、永松	68.2	24.7	69.2	24.5
西谷	32.2	67.8		
植松	45	55		

ものであり、日常生活を美化する基となるものである。

なつて來るミ考へられる。幼稚園兒の教育の問題ミしては彼等に親しみの深い色彩に就ての豊富な知識ミ經驗を與へてやる事が好ましい。此の色彩の世界はやがて繪畫の理解の道を拓く

新刊

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

系統的保育案の實際

定價 金七拾錢
送料 金四錢

一、保育案の實際は幼稚園必須の資料

一、東京女子高等師範學校附屬幼稚園現行の保育の實際は各幼稚園好箇の參考

一、待望の本書を全國幼稚園保姆諸君に勧む

東京市小石川區大塚町三十五番地

東京女子高等師範學校附屬幼稚園內

發行所 日本幼稚園協會

○七月二十日發行。

童話

武田雪夫



大きな贈りもの



あしたは、坊やのお誕生日です。

もう坊やは、六つになりましたから、今度のお誕生日には、さても坊やには持てないやうな、大きな大きな贈りものを、お父さんが下さるお約束です。

何を下さるのでせう。坊やは、お父さまのお歸りが、待遠しくてたまりません。ところが、いつも早くお歸りになるお父さんが、さうしてか、今日はなかくです。

そのうちに暗くなつて、坊やが、待ちきれなくて、おねんねしてしまつた頃、お父さんは、やつとお歸りになりました。

さあ、お父さんは、坊やに、どんな贈りものを買つて来て下さつたでせう。ところが、おや〜お父さんは、小さな紙の包を一つ持つてゐるだけです。坊やの贈りものは、さうしたのでせう。忘れて來たのでせうか。

朝になつて、坊やは目をさしました。さあ、今日は坊やのお誕生日です。坊やは、にこ〜として起きました。

おや、誰か、お庭で何かしてゐます。坊やは急いで、お廊下へ飛出して行きました。お父さんが、シャツ一枚になつて、お庭の隅に、大きな穴を掘つてゐます。

「お父さん、何を作るの。金魚の池を作るの。」

坊やが、きました。

「ちがふよ。もつこ／＼よいものだよ。」

お父さんは、汗をふきながら答へました。

そのうちにお父さんは、穴を掘つてしまひました。

そこへ、ごこの小父さんが、車で砂を運んで來ました。

「こちらですか」。

「ええ、その穴の中に入れて下さい」。

その時、お母さんが、昨夜の紙の包を下さいました。坊やが開けて見るに、中から赤いシャベルや青いバケツが出て來ました。

お父さんの掘つた穴の中に、小父さんが砂を上手に入れました。平に均した砂は、ほんきに柔かさうです。上等のお砂場が出來ました。

坊やは、うれしくなりました。

——お砂場の贈りもの。まあ、ほんきに大きな贈りものです。

今に、仲よしのお友達も遊びに來るでせう。おしまひ。

今度本協會にて「系統的保育案の實際」(廣告參照)を發行いたします。尙附屬幼稚園の編纂になりましたもので、ぜひ皆様におすゝめ致し度うございます。御購入の方は協會へお申し越し下さいませ。

雜誌「愛育」が六月にうまれました。恩賜財團愛育會の發行でございます。

本誌上からも御吹聴致します。

幼兒の談話に就いて

—— みどり會繼續研究會の速記 ——

(文責在記者)

内 山 憲 堂

私は幼兒童話につきまして、皆さんの前で特にお話する様なたいした事も考へて居りませんが、唯童話に對して疑問を持つて居ます。特に幼兒童話に關心を持つて居ります。今日は皆さんにお話するこいふよりも此處で御一緒に研究させていたゞく絶好のチャンスだと思ひます。

私が近頃喜んで居ります事は、幼兒童話について關心を持つ人が多くなつて來た事であります。幼稚園に於て、家庭に於て小學校低學年に於て幼兒童話に關心を持ち、注意をはらひかけて來た様であります。私は四五日京都で暮して二三日前に歸つて參りましたが京都で色々の會合、座談會に出席致しましたが、今迄はそんな傾向がなかつたのが其の色々の席上で幼兒童話に對しての質問の矢が放たれる

のです。佛教經營の大學の座談會でも幼兒童話が問題になつて居ました。今迄童話の部分的な技巧的な質問が多かつたのですが、例へば子供が大きな會場に澤山居て盛にさわいで居る、其の時に自分が檀にのぼつて話をする時には、さうして靜めたらよからうかとか、夜、話をする時には電氣がきの様な位置の所にあつたらよいとか又、學校では御眞影の安置されるべき所に對してさういふ風に敬意をはらつてからすべきものか後を子供に向けて禮をすれば子供の注意が亂れるかといふ様な事です。それが此の間は幼兒の童話そのものに對する質問が大變にふえて來ました。最近の出版物について見ても、非常に人々の考が幼兒童話に向つて來た事が分つて非常に喜ばしい事を存じます。一體

幼稚園において今まで、お話し観察ははつたらかしにされて居た傾向がある様ですね、唱歌、遊戲等ははなやかですが、まあこの附屬幼稚園は別として、私立の幼稚園では、子供に何かはなやかに躍つたり、唱つたりして貰つた方が人氣があり、父兄に喜ばれるので、さうしても遊戲、唱歌の様に、第三者にすぐにしめせるものが歓迎され、又保姆さんもそれによつて自分の腕をみこめて貰はうとするのでせうか。その爲に自然時間をそれに費ひやすいといふ事になります。其の爲に私立の幼稚園では第三者に對しない、子供と先生との間の物つまりお話等についてはあまり考へられて居なかつたのです。

ところが童話は子供が非常に喜びます。毎日話してくれといふ言はない事は無い位ですが、先生はしない、なかなかしないです。私も今小さな幼稚園をやつて居ますが、一週に一度は一人の先生が全體にして、後は隨時にするといふ事にして居ます、其の一週一度だけののは皆で聞いて批評し研究し合ふ事にして後は隨時にする事になつて居るのですがなか／＼出来ない様です。子供の氣分が向いて來た時

に「よし、お話してあげませう」といふ氣になれないのですね、數日も前から本を讀んで暗記してそれから、こいふ様に重い物として取扱はれて居るらしいのです。今日も或組の先生がピアノの前に椅子を四五脚竝べられたので子供はお話し思つたらしく「お話だ／＼先生お話でせう」と喜んで居る。先生は「いゝえお話じやありません、今日は唱歌をするのです」と云ふので子供は「何だつまんないや」と失望して居ます。なぜ子供が希望して居るのに短い物でも一つしてやれないかと思ふのです。それではあんまり可愛想ですから遂々私が出て行つて短いのを一つしてやりましたら大變喜びました。一寸やればいゝのにやらない。特殊な重い物とされて居るのです。

それは一般の先生方が悪いのではなく、今まで童話のあゆんで來た道が間違つてゐたと思ひます。委しく話せば童話の歩んで來た道、歴史といふ事になり、長くなりますが、かんとんに申しますと、今までの童話術は大眾を相手にしたものなのです。亡くなられた巖谷先生が童話をするといふ事を昔のいわゆるお話の術を應用してはじめ

られたものです。それから童話を話すといふ事が最近の四十年間非常な進歩で普及され進んで来たわけですが、一體日本位大衆を相手にして童話を話す所はないのです、百人から五百人多くは二千三千人の子供を集めて話すのですから、アメリカの人達はむしろ驚異だと言つて居ます。亞米利加の圖書館あたりでするのは五十人多くて百人位で何千人といふ子供に向つて話す事は日本だけです。これは日本の話術が世界的であるといふ喜ぶべき事ではありますが、反面にあまりに童話が大衆を相手にする物になつてしまつて、ラジオでも一般童話家といふ特殊なものがみこめられて、専門的になりすぎてしまつた傾向があります。その爲に家庭のお母さんから、幼稚園の先生からの童話がなくなつてしまつて童話は専門家がすべきものとされてしまひました。

童話に對する色々の議論も童話そのものをくまりにして論じられて居ますが、幼児童話は特殊の物であると思ひます。大抵の人が論じて居るのは大衆童話で、童話には感激がなければいけないとか子供の心にうつたへる物が必要で

あるといはれて居ます。大衆童話にはそれは必要ですが、五人や七人の子供を前にした幼児童話には、そんな物は必要ないと思ひます。大きい子で澤山集つた場合には其の子供の心に何物かを與へる事は勿論必要ですが、それを幼児童話にあてはめるこそここに矛盾が起ると思ひます。幼児童話は今まで間違つて取扱はれて来たのですから、これに元にかへし、白紙から出直して考へ度いと思ひます。童話はむづかしいと言ひますが、話そのものはむづかしいのではなく、童話家専門家を標準にしてやらうとするからむづかしいのです。だから重荷になつて幾日も前からおけいこしてからでなければ出来ない云ふ事になるのです。普だん子供と話して居る其のまゝをお互に話したらいいと思ひます。互話と言ひますが自分の平常話して居るまゝを子供に話して行くべきであります。童話は子供の生活である以上は子供の生活にふれて行かなければなりません。子供にふれる云ふ事は皆さん毎日遊戯をし、唱歌をし手技をしてふれて居るわけですから其の様に話してふれて行けばよいのです。

幼稚園におけるお話を分類することがゆるされるならばこれを大きく二つに分けて

先生が話す——聞かせ方

子供が話す——話し方 の二つになると思ひます。

更に先生が話す場合を二つに分けて、童話と自由談話、子供が話す場合も同じく童話と自由談話とに分けられると思ひます。

先生が話す(きかせ方) ／＼ 童話
自由談話

子供が話す(話し方) ／＼ 童話
自由発表

童話そのものを話す時も談話であるが、自由に話す時は觀察に近づくがこれもお話に入ると思ひます。すなわち雨が降れば雨の話といふ様なものであります。

今まで子供に發表させるといふ機會が少かつた。之は童話でも自由發表でもよい。これは非常に面白いと思ひます、子供が話す事を聞いて居るに非常に勉強になる事が多いと思ひます。たゞへば月曜日には日曜にあつた事、お休後には休み中の面白かつた事といふ工合に。童話そのもの

も時々話させますが、私の方では時々茶話會を開いて、お菓子等をいたゞきながらかはるゞさせて居ます。面白い事には、朝私が皆にきかした話を、午後の時間に得意になつて話して居る事があるのです。自分が始めて皆にする様な顔をして居ますが、子供は案外聞いて居ます。中には「三人朝の話と同じだ」と云ふ人もありますが他の人がだまつて聞いて居るのでだん／＼仲間になつて聞いて居ます。

子供の自由なお話の中には我々の參考になる事が非常にあると思ひます。今日もKさんが

「昨日銀座に行つて、三越に行つたの。そしたら夜になつたから僕一人銀座に泊つたの、そしたらおばけが出て來たから僕切つちまへに切つちやつて朝歸つてきた」と云ひます、之れは三越に行つた所まで現實で後は想像の世界には入つてしまつたのです。又休暇中の話で

「お休み中に逗子に行つたら、お隣りにミイダーさんといふ西洋人が居て仲よく遊んだ、とても面白かつた。先生、西洋人のお鼻はブラ／＼ね」といひます。おかしいな鼻がブラ／＼とはどういふ意味かよく考へて見ました

ら、高くてミがつて居るからなのです。大人ならわし鼻ミでも言ふでせうが、子供は、實に奇想天外な表現をします。此の間も東郷さんの繪を見て海軍記念日の話をして居ましたが、

「東郷さんは強いなあ、勳章をあんなに澤山付けてらあ、外の人ならこんなにつけたら重くて倒れちまふのに東郷さんはちゃんミ立つてるよ、偉いなあ」ミ云つて居ました。面白いですね。

この間或將校の子が

「此の間横須賀に行つたら、東郷さんの軍艦はりつけになつて居たよ」ミいひますミ他の子供が

「そりやそうさ、東郷さん死んだからはりつけになつたのだ」ミいつて居ました。

日本の子供は一體に發表が下手です。幼稚園でも半分位の子供はだまつて居る様です。聞いて居る時には大きい聲で何か言ひながらいざ一人で發表ミなるミ出来ない。特に女の子は下手です。自由に發表させるミは發表の練習にもなり大いに必要な事と思ひます。

童話を話し童話をきかせる事を生活ミして行きたいと思ひます。いわゆる童話家の平常幼児ミ生活を共にしないで机の上で作つた物よりも幼児に對する經驗があり學問もある方がなさるのが最も適當ミ思ひます。此の間も一人の子供がゐないミ言ふので四五人のお友達が一生懸命探して居るのです。ミこを探しても居ないミ先生の所に云つて來ましたので下駄箱を探したら分るでせうミ先生が言ひました。先生の氣持では下駄の有る無しで其の子供が歸つたか否か分るミ思つたのでせう、ミところが子供は、

「あゝそうだ。下駄箱の中にかくれて居るかも知れないよ」ミ大急ぎで探しに行きました。つまり大人の生活ミ子供の生活はまるで異ふのです。

兎に角幼児童話を特別の物ミして取扱はずに子供の生活の中に見出して、お互に話す氣持で隨時隨所に話して行きたいと思ひます。子供がお話をミ云つたら「おいそれミいつて與へられなければいけない、此の點から云へば遊戲や唱歌よりもつミ自由性があるミ思ひます。遊戲は友達がなければ躍れず、ピアノがなければまあ出来ない。手技

でも紙がなければ鋏が與へられなければ出来ないのにお話は、お庭の木の下でもお室の隅でも子供がお話云へばすぐ出来る。ポケットの中のビسケットを與へる位の軽い軽い氣持で自由に與へて欲しいと思ひます。

大體これで私の幼兒童話に對する考の一端をお話したわけではありますがこれで切りまして、後はお互にこゝはごうしたらよいか云ふ様な事を質問し合つて御一緒に研究したいと思ひます。

* * *

司「では皆さんさうぞ御質問をお願い致します」。

A「お話を致して居ります時に、他の子達は一生懸命書いて居るのに、先生それは作つた話だね、云ふのですが、こゝにいふ時にはごうしたらよろしいのでせうか」。

内「よくさういふ子があります。さういふ質問をした子には辯解する必要はないと思ひます。先生鬼はあるのですか、聞いた場合に、「昔はあつたさうですが今はない様です」か、「人が悪い人をたゞへて鬼云つたのです」か、いふ様に辯解するよりも、御本にはあるのです」

いふ様な取扱の方がいいのじやないかと思ひます。子供の中には大人の教へる現實を其のまゝ受取つてゐる時があつて、

『雷がなるけれ共こわくないよ、あれは電氣だから』云つて居る子供がありましたのでこれは偉い事を知つて居るに驚いて居ましたところ、其の中に扇子であふぎながら扇子の中から風が出て来るく、喜んで居ましたので安心しました。やつぱり大人が教へたのだなと思つて」。

B「月曜日に、日曜日にあつた事を話して云つて机で順に言はせて居まして一人残らず皆するのですが、さういふ時に真似をする子があるのですがけれど、さういふのはごうしたらよろしいでせうか」。

内「真似ますね、自分の頭にない子供は真似るより外に仕方がないですからね、畫でもそうです。發表能力の無い子供達は上手な子供の真似て居ます。大人ならヒントを得て書くに過ぎないでせうが子供は全體を真似してしまふのですね、何故そうするか問ひつめたら困るでせ

う。

B「問ひつめた事はありませんが困るだらうと思ひます。

其のまゝにして置いて差支へないものでせうか。したいしたい云ふのでして居ましたが、あんまり真似して恐ろしくなつたのです。子ぎもは真似して居る云ふ意識は無い様ですが、一人が三越へ行つた云へば私もく、ミ二十人位同じになつてしまひます」。

内「真似する云ふ意識は無いでせう。今度はその真似する人を先にして、能力のある人を後にしたら如何でせう」。

B「模倣しても言はせる方がよろしいでせうか」。

内「それは言はせた方がよろしいでせう。それが積り積つて段々に自分の持つて居る事を言へる様になるでせうから」。

C「これは技巧には入るかも知れないのですが、話す人の事ですけれ共、話す人が先天的に小さい聲の時に五六十人に話さなければならぬ場合最も有利な竝べ方はどう致したらよろしいでせうか」。

内「保育室では先づ角を取るのですね。後が二方壁、又は

窓の所は窓を全部しめて、子供を自分が立つて子供の頭に手をやる位の近さにして扇形にならばせて、ぎつちりつめて、小さい子を前に大きい子を後に竝ばせるのですね、そんなに大勢で無い時でも、そうした方がましまりがついて、聲の反響がよいのです」。

C「扇形ミ申しましてもぎの位にしたらよろしいでせうか。横の人はどうも工合が悪い様ですが」。

内「自分を中心に五十度位に開いて、横まで来ない様になければ、やつぱり顔が見えなければ話せませんね」。

B「さんの方で全部の子供が話されるのは、何か特別に訓練されたのですか」。

B「いゝえ、別に訓練も致しませんけれども、私共の様に下町の子は割合にはにかむ子が少なく、何でも言つて來ます。山の手の幼稚園に居た事がありますが、随分異ふと思ひます」。

内「ごなたか子供に話をする様に訓練なさつた方がありませんか、ありましたら是非其の御經驗を伺はせて下さい、

私の幼稚園でも一學期の末に約三分の二はするのですが三分の一の子供はなかなかしません。ヒントをしばく／＼與へますがしないので何かよい工夫にないか色々考へて居ます」。

D「話をして居る時に、話す事の好きな子供に聞く事の好きな子供もあつて、聞く事の好きな子は一生懸命話の筋に注意してそれから／＼いふ様に聞いて居ますが、話す事の好きな子はお話の中から色々聯想を起して話しかけますのでとても困りますが」。

内「お芝居をだまつて見て居るのが觀賞であるのと同じ様に、聞くこども觀賞さういへませうか、また一つのおけいこですね。色々子供が話しかけて來ましたら、其れを上手に話の中に取り入れてしまつて話を進めて行くのです。子供の言ふ事に一つ／＼返事して居てはかんじんの話の方が進めて行かれませんか。例へば猿のお話をし様にして『さあ今日は猿のお話をしませう』と云ふと、

『先生 こないだ僕動物園に行つたら猿居たよ、キリンも居たよ、それから熊もそれから』と云ふ様な時に一々

これにこだわつて返事をして居たら、なかなか話は進められませんね、ですから『あゝそうですか、今日は其の色々の動物の中のお猿の話をしませうね』と云ふ様に云つて話を進めてしまふのです」。

E「子供はお話が好きでもつゞ／＼と要求しますが一度にいくつ位また何分位が適當でせうか」。

内「私は一度にはまつ一つ、幼稚園全體の場合には十五分内外。四歳児には七分、五歳児は十分、六歳は十五分、七歳は二十分位といふ大體の標準を立てゝ居ますが、子供の疲勞がありますからむやみに數多くは考へものではないね。勿論午前と午後、天候、聞きなれた子とそれなれない子等によつても随分異つて來ますけれど、二十分より長くなるゝ疲勞していけないでせう。一人の子供の慾望を満す爲に他の子供を疲勞させる様になりますから」。

F「話す人が變るゝ、音聲が變つたりして、疲勞は餘程異ふものでせうか」。

内「それは異ひます。黄色い高い聲の人は疲勞が多く、低くて小さい聲の人は疲勞が少ないと言ふわけになりま

す、話し方の早い、おそいにも関係します。同じ人が十五分間續けるの三人が變つて二十分話すのミ大體疲れ方が同じ様になります」。

F「三人位話し手が變るミ三つ位きくのですけれ共」。

内「一人何分位でせう」。

F「まあ十五分位ですが」。

内「それは多すぎますね、一人十五分なら三人で四十五分ですから、一人十分位ならまあ三人でもよいでせうと思ひます」。

F「お室ミ、屋上、お庭では疲勞の關係はさうなりませう」。

内「疲勞は室内が一番多いのです、其のかわりよく注意がまこまります。つまり同じ場所でも夜電氣の下でするのは一番よく聞きますが、其のかはり一番疲勞するものです、客席の電氣を消してステージだけつけておくあの方法も、つまりよりよくかせる方法ですが、其のかはり非常に疲れます」。

G「お話をして居る中に現實から空想にうつてしまつて、ミても大きい事を言ふ子があるのです」。

内「それが普通の空想程度ならよいですが、病的の子はいけません。素人では一寸それがよく分りませんが、あまり病的のを助長するミ、よくある例ですが、仁術で汽車をミめ様ミ線路に立ちふさがつて汽車をミめて、本當に汽車が仁術でミまつたミ思つて得意になつて居るミいふ様ながあります。そんな子は百人に一人か、五百人に一人位なものでせう」。

G「それ程病的ミいふのでもないのですが、段々つけ加へて言つて、面白くし様ミミするのですが」。

内「つけ加へて行つて面白くするのは一つの創作ですから、ミめないでもいゝでせう」。

H「嘘を言ふ子供があるのですが、お家でも嘘をつくミおつしやつてお母様がミても心配して居らつしやるのです。例へば

『昨日洗足の池に行つて遊んだら面白かつたよ、その中にボートが沈んで僕お池に落ちて死んぢやつたよ』等ミ言ひます。こんなのはミめないでよろしいでせうか」。

内「先生をミまかしてやらうミいふ氣持ちで言ふのではな

いでせうね、家庭でいふ嘘は或は現實の嘘であるかも知れません。それはごめなければいけません、今の話の様なのは、單に話ですから、嘘ではないのです。現實が入つて來なければごめなくても差支へありませんね。

畫でも子供がよく書く人の畫が頭からすぐ手足が出て居ますが、嘘の畫だとは言へないのと同じです。子供の發表なので、子供はそう感じたのを發表したのですから嘘ではありません。それと同じでせう」。

F「先程の疲勞の問題のつゞきなのですが、三十分位過ぎた後でも全體がもつこきゝたいこいふ希望の時はしてもよろしいでせうか、

一寸意外に感じる事は、屋上でして居ます時は、三人でかはるゝするのですが、始に黄色い高い聲の人、次に低い聲の人こいふ様にして、三つ位してもまだしてゝと言ひます」。

内「きゝ方の訓練がしてあるのでせう、それによつてもずい分異ひますからね、疲勞が一寸も見えなければ差支へありません、後には長いのはいけませんね。短いあつさ

りした物をする事です。三つ位する場合は、始め少し長い物、次に短い物、後は中位のものゝする様にしたらよいでせう」。

I「私の方でも一度に三つ位してくれと言つてきかないのですが、其の場合今までしたもの何度でもきゝたがりますが、後で今までのものをした方がよろしいかそれゝも、先にした方がよろしいでせうか」。

内「どちらでもそんなにかまひませんが、後の方がいゝでせう」。

J「内容には入るのですが、年長組になりますゝかなり複雑な物を要求致しますが、程度はどの位までよろしいものでせうか」。

内「幼稚園でする程度の童話はリズムによつて綴られて居るのですから、話の筋そのものにはあまり興味を持たないのです。部分的興味ですから同じ話を何度きいてもよいのですが小學校から、幼稚園の卒業頃になつて、筋に興味を持ち出すゝ、かなり複雑なものを要求して來るのです、程度ゝいつても一寸困りますが、話をきゝつける

さむづかしい物でもきゝます。先づ假に例をあげれば七匹の小山羊の話、三匹の小豚、大江山、かち／＼山を多少かへたもの等いゝでせうが浦島あたりは少しむづかしいでせう。

K「コードモノクニのお話等を讀んで聞ける事が御座いますが、お話に飽きてしまつて次の畫を見たくて頁をめくつてしまふのですが、本を讀んできかせるさいふ事はよろしいでせうか」。

内「それはよろしいです。本を見せながらお讀みになるので、次の繪が氣になるのですから本はこちらに取つて置いて、ぎん／＼話を進めて、後で繪を見る様にしたらよろしいでせう」。

K「讀んで聞かせる時は何人位までいゝでせうか」。

内「何人でも結構です、三十人でも五十人でもいゝでせう」。

F「私の方でも本を讀む事をとても好みます。コードモノク

ニや子供の友、小波さんの假名書の本、武井さんのもの等喜んできゝます。或時迄お話が濟んだら繪本を見せ、又話をつづけるさいふ様にして居ます」。

L「お話最中に立ちだす子供があつて、一人でお話して居る時には困るのですが、其の様な時吐つて座らせて置いてよろしいでせうか」。

内「お話の中でもう一度子供の注意をまごめる様にして見るか、お話の中にリズムの様なのを入れて一緒に言はせて見るか、皆で其のリズム的な所を手を打ちながらやるか、何さか方法を用ひてもう一度興味を持たせるのです。吐つてはいけません。そういう事は注意の散慢か、非常に我儘に育つた子でせう」。

M「話の全然嫌ひな子供つて御座いますか」。

内「家庭によつてあまりお話の經驗をしないで來た子供は始めはきゝませんが、段々きく様になるでせう、特殊の病氣以外には」。

家庭が大きな影響です、年中ざわ／＼した様な家庭の子はあまりきゝたがりませんね」。

N「先程かち／＼山を多少かへて、さおつしやいましたが、この程度に先生はおかへになつていらつしやいますか」。

内「さあ、あんまりかち／＼山は致しません。まあかへ

てすれば

おぢいさんが山から狸を取つて來て家につるして置いてお婆さんがお餅をついて居る間に、お婆さんをいぢめてだまして逃げ出してしまつた。さか……。

私も小さい時にお婆さんから聞かされた話では随分慘酷な話でお婆さんを狸が殺して、婆汁にしてお爺さんにたべさせて、お爺さんがおいしい／＼言つたと言ふ様に本にも書いてありますが、お婆さんを食へさせる必要はありませんからいぢめた程度でいゝでせう、まあ悪い狸だと言ふ事になればよいのですから、兎のかたき打の所も山に薪取りに行つて音がしたら狸があつたと言つて大急ぎで逃げて歸つた。後で海へ舟をこぎに行つて、泥舟ミ木舟に乗つて行つて狸の泥舟を沈めてしまつた、

こいふ様にしたらさうでせう、此の場合狸が御めん／＼さあやまつたので助けてやつた事にしても差支へないと思ひます、火傷をして痛くてころげ廻つたの、唐芥子みそを張つたこいふ様な事は抜いてしまつてよいでせう」。

〇「お話の最後は悪い者があやまつてよくなつたとした方

がよろしいでせうか、それとも悪い者はどこまでも悪いとしてほろぼしてしまふ方がよろしいでせうか」。

内「改心をさせた方がよいかとおつしやるのですか」。

〇「はあ、改心させるか、又あんまり慘酷でなくほろぼした方がよろしいのでせうか」。

内「子供の中には詩的藝術的正義さいふものがあつて、正しい者は榮え、悪い者はほろびる事を期待して居るものです。大人の場合には反對に却つて惡人がはびこつて、善人が苦しむと言ふ様な悲壯悲哀の中に藝術味のある事が澤山あります。或人は滅ぼす事は慘酷だと言ひます。私も始めは殺さずに助ける主義でしたが、たゞへば七匹の小山羊の狼が、子山羊のお母さんにお腹をチキ／＼切られて子山羊が逃げ出して、石をつめられてから、水を呑みに行つてお腹が重いので水の中に落ちる所を、助けて來ましたが、子供は沈んでしまふ方がいゝらしいですね、其の方が子供達は如何にも満足したらしい顔をしてきて居ます。

大人の考へる死さ、子供の考へる死さは大いに異ふの

で、子供に取つては死はあまり悲哀ではないのですね。

ですから大人が考へる程死をさげなければならぬものでもないと思ひます。子供達はよく人が死んでも、お客が澤山あつたり、花輪が來たりするので、案外はしやいで居たりするものです。唯お話の中で死ぬ場合に、千松が殺される様な工合に、これでもか／＼いふなぶり殺しの取扱をする事はさげなければなりません。もつミリズム的にブク／＼沈んで行きましたつてサ、其の程度にして置くのですね」。

P「お話の題はさういふ風に取扱つたらよろしいでせうか、始に題を申しますか、後から申しますか」。

内「それはどちらでもよいと思ひます。昔の話術ですミ、枕ミ本筋ミ結びでなり立つて居ますがそれは幼兒童話には勿論必要な事です。唯何か一寸挨拶的な事を言ふのは必要でせう。人が他の家に行つて一寸挨拶をする様なものですか」。

「今日は狼の話をします、或所に」さいふ様に題だけポツンミ出して行くのは變ですね、題を其の挨拶の中に織り

込んで行くのです。

「今日はよく雨が降つて居ますね、ぢやああの雨の好きな蛙さんの話をしませうか」さいふ様な工合に」。

Q「先日ヘンデルトグレーテルの話をしましたが翌日は直ぐ其の眞似ごつこをして居て、又今日もヘンデルの話々ミ申します、あゝいふ鬼ミか、魔女の様なこわい話をしてよろしいでせうか」。

内「子供がこわい話をして呉れ、と言つた時にぢやあれからこわい話をしませうね、ミ言へば子供は暗示にかゝつて、一寸の事でもこわい／＼ミ言ひます」。

「今日はこわいおほびこの話をしませう」ミ言へば巨人が出るミこわい／＼ミ言ひますが、

「あのね、大人を退治した太郎さんミ言ふ元氣な子供のお話をしませう」ミ言へば一寸もこわがりません。

巨人、鬼、鬼婆等の取扱をこわい者にしてはいけません。それを童話的の鬼、巨人にしてしまひます。こぶ取の話でも

『頭に角のはえたこわい鬼が出て來ましたよ』等ミ言は

ずに、もつミリズム的に、

『あゝ色々な鬼が出て來ましたよ、黄色い鬼や赤い鬼や、あゝ紫のも黒いのも太鼓や笛を持つてピー／＼ド
ン／＼躍りながら……』

等と言へばこわくありませんね、

狼等をこわがるのも、家で狼はこわいと言ふ事にされて居るからです、狼等が羊を食べたりする時ももつミリズム・ミカルにお腹の中に、は入つて行く様に話すのです、舌切雀のお話でも舌を切る時リズムミカルにやれば一寸も舌を切らして差支へないと思ひます。」

R「家の小さい子供がお話／＼申しますが、又幼稚園に行つて同じ話をきいては興味がなくなりはいないかと思ひます。」

内「それはかまひません。部分的興味ですから何度きいてもよいと思ひます。きん／＼しておあげなさい。」

S「先程のきこかへ日曜日に行きましたかき聞いた場合に、唯「きこへ行つた」しか言はない子が御座いますが、其の場合何かこちらから言つてもつミ誘導した方がよろしい

でせうか、其のまゝ置けば言ふ様になりませうか。」

内「そういう子は發展の構成能力が足りないのですからこちらから誘導して引出して聞いてやる事が必要です」。

S「きこかへ行つた事を聞くき、しまひに先生が聞くから何處かへ連れて行つてき云ふ様になつて困るのですが」。

内「こちらで何處／＼へ行つた、き子供が言つた時に『それはよかつたですね』誰さんは一日お家それぢや面白い事ありませんね』きい様に批評を下すき、そういう結果になる事があります。こちらの聞き方でも『昨日はきこにいらつしやいましたか』き言ふ様に持ち出すのはいいけません、批評をせずにあつさり聞いて居たらよいでせう、それに何も昨日行つた事ばかりを聞かないでも材料はいつも澤山ありますからしよつ中それを聞かないでもよいでせう。『昨日の防空演習の時皆さんどうして居ましたか』き言ふ様な事も非常に面白いと思ひます」。

司「長い事色々有りがたう存じました。皆さんまだ／＼伺ひ度い事はおありき存じますが先生の御時間の御都合もおありでありますのでこれで閉會にさせて戴きます」。

雜 錄

山口縣保育會

我が防長二州は由來教育縣を以て全國に誇つてゐるのであります。吾々保育關係者もより完全な幼稚園を經營して其の基礎を培ひたい念願から同志が集つて大正十五年山口縣保育會を設立しました。爾來年を追うて縣内の幼稚園、保育園の殆んどを網羅するに至りまして現在第一支部(周防部)第二支部(長門部)を合はせまして加盟園は四十一ヶ園に達し年々講習會、研究會、視察員の派遣等を行ひ日進月歩の幼児教育を研究しまして今年は十周年を迎へることになりました。

創立十周年記念事業 幼児教育の重要性を思ひ幼稚園の發展充實を熱望する秋に本保育會の十周年を迎へましたことはまことに同慶の至りであります。

吾等の山口縣保育會が十年の歴史を積みました今日更に百二十萬縣民の理解と御後援を得まして益々本會の堅實な發達を遂げまする爲に次のやうな記念事業を營む次第であります。

○記念式 五月二十六日

五月二十六日行事行程

(一)山口縣保育會第十回總會(午前十時—同十時二十分)

一、一同着席 二、開會ノ辭
三、會務報告 四、議事

五、閉會ノ辭

(二)山口縣保育會創立十周年記念式(午前十時三十分—同十一時三十分)

一、來賓着席 二、一同敬禮

三、開會ノ辭 四、國歌合唱

五、勅語奉讀 六、總務理事式辭

七、知事祝辭 八、來賓祝辭

九、感謝狀贈呈……答辭 十、閉會ノ辭

十一、一同敬禮 十二、一同退場

(三)創立十周年記念祝賀會(午前十時五十分—午後零時五十分)

(四)創立十周年記念講演會(午後一時—同三時)

演題「幼児教育の實際について」

講師 神戸市神戸愛兒園長 望月クニ

(五)記念寫眞撮影(午後三時二十分—同三時四十分)

(六)座談會(望月先生ヲ中心トシテ)(午後四時—同六時)

追記 本會ヨリ總務理事私立大島幼稚園長眞澄超倫氏ニ感謝狀並記念品ヲ贈呈ス

○記念講演會 五月二十六日 ○記念映畫會 縣下二十

一ヶ所 ○記念地方講演會 縣下各地 ○ポスター、パンフレットの配布

昭和十年五月

主唱 山口縣保育會
後援 山口縣

山口縣教育會

日本幼稚園協會編輯 幼兒の教育

會長 東京女子高等師範學校長 下村 壽一
主幹 東京女子高等師範學校教授 倉橋 惣三
附屬幼稚園主事

日本幼稚園協會規則

第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス

第三條 會員タルラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノトス

第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ齎出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ケ

第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルヘシ

第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘシ

第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。

但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得

第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
一、幼兒教育ニ關スル研究及ヒ調査
一、幼兒教育ニ關スル講演會及ヒ講習

會ノ開催

一、雜誌發行(毎月一回)

一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行

一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名 會務ヲ總理ス
主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス

幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス

評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ス

第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス

第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ヲ期シテ會長ヨリ推薦スルモノトス

第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ

第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

定價

一ヶ月分	金參拾五錢	特等面二頁二面一頁
三ヶ月分	金貳圓拾錢	金貳圓拾錢
六ヶ月分	金貳圓拾錢	金貳圓拾錢
一年分	金貳圓拾錢	金貳圓拾錢
拾貳冊分	金貳圓拾錢	金貳圓拾錢
拾貳冊分	金貳圓拾錢	金貳圓拾錢
拾貳冊分	金貳圓拾錢	金貳圓拾錢
拾貳冊分	金貳圓拾錢	金貳圓拾錢
拾貳冊分	金貳圓拾錢	金貳圓拾錢
拾貳冊分	金貳圓拾錢	金貳圓拾錢

(外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)

昭和十年七月十三日印刷納本
昭和十年七月十五日發行

幼兒の教育 第三十五卷 第七號

製複許不 載轉禁

東京女子高等師範學校附屬幼稚園內
編輯者 倉橋 惣三
發行所 柴山 則常
印刷所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷所 東京市小石川區大塚町三十五番地
印刷所 東京女子高等師範學校附屬幼稚園內

發行所

日本幼稚園協會
振替口座東京一七二六六番

定規文注

一、本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます。
一、御送金の場合には振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし。
一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申込を願ひます。
一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に「前金切」の印章を押捺いたします。其節は早速御送金を願ひます。
一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

▲著者は幼児教育並に家庭教育の第一人者として曩に長くも此點に御關心深き 兩陛下の御前講演の榮に浴され、又各宮家よりの招聘ある我國保育界の耆宿にて最も完備系統ある現代の保育法原論である。

東大 京阪

東大 京阪 市南 田區 神內 保安 町寺 一一 丁目 六二 七八 番地 振替 東大 京阪 一〇三 番地

「お、暑いこと！」

斯う仰言るとき、次の手技材料をお子様方にお與へ下さい。益々健康、愈々朗か。

◇盆 提 灯——用織紙五十組(中紙共) 金七十錢

◇團 扇——淡い、紅・黄・紫・緑・水色の五種。何れも貼紙クレオン等で圖案を施して用ひます。

◇木 舟——木製のお舟、エナメルで仕上げ水に浮かせます。 各色取合五十本 一組 金一圓五十錢

◇紙 舟——茶ボールに印刷した厚紙細工、剪つて開き紙でとめ、クレオン、色チープ等で意匠して水に浮かせます。

◇噴 水——水槽、水管、噴水孔付水盤の一揃 五十個 金一圓

◇ポンプ——消防用小型の機構全部金屬製ラツカー塗装、ゴムホース付。 一揃 金八圓

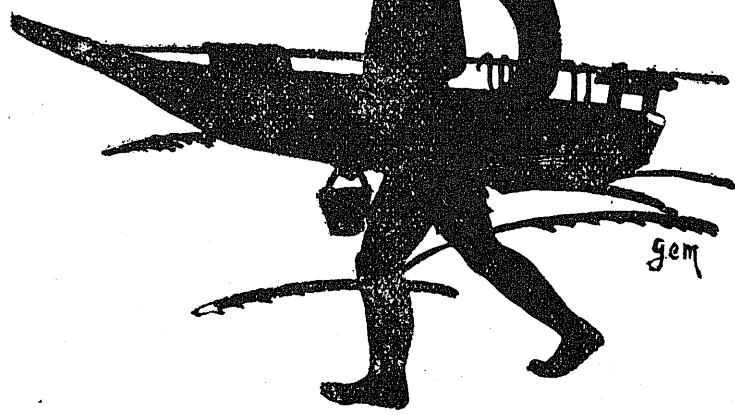
◇龍 吐 水——木製 一個 金十五圓

◇撒 水 車——便利で應用自在 一臺 金二十錢

◇砂場用具——一號品はバケツ・杓・木鋤・新案杓子。二號鐵製シャベル・ホーレーキ・ホーク・板箕・篩。

◇砂場の汽車とトンネル 一號 一組 金七十錢

◇砂 型——四種 二號 一組 金一圓



株式會社 貝 魯 館

本店 東京・神田・今川小・路電九段(33)番七二八三
出張所 大阪・東區・後備町・五電・本話一八九三番

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
(毎月一回) 同十五日發行
昭和十年七月十三日印刷
昭和十年七月十五日發行

定價 三十五錢